

市民意識調査報告書

平成23年6月

掛川市 企画調整課

目 次

第1章 市民意識調査の概要	2
第2章 集計結果	3
1. 基本的事項	
2. 政策の実施効果	
3. 政策に対する満足度と優先度	
(1) 満足度と優先度の分析結果(ポートフォリオ分析)	
(2) 象限(ゾーン)別の経年変化	
(3) 満足度の経年変化	
(4) 優先度の経年変化	
第3章 自由回答結果	20

第 1 章 市民意識調査の概要

1．調査目的

地方分権時代に求められるのは、国策に従い事業を実施するだけの事業自治体から、自己決定・自己責任により、最少の経費で最大の効果を上げる政策自治体への転換である。

このことから、本市ではこれまでの総花的・網羅的な事業展開から顧客（市民）志向に基づく重点的・戦略的な事業展開を行う成果志向型行政経営に取り組んでいる。

この市民意識調査は、その取り組みの一環として、適切に施策・事務事業の軌道修正や新規立案を行うため、複雑・多様化する市民ニーズを的確に捉えることを目的として実施するものである。

また、第 1 次総合計画においては、計画の成果目標を具体的な数値で掲げてある。この目標達成度も併せて、この市民意識調査にて測定するものである。

2．調査対象

(1) 調査対象

市内在住の 20 歳以上の全ての市民の中から 2,500 人の方々を抽出し、男女比率を 1 対 1 とし、年齢階層ごとに均等に抽出した。

(2) 配布数

2,500 枚を配布した

3．調査期間と調査方法

(1) 調査期間

平成 23 年 4 月 15 日～平成 23 年 4 月 30 日

(2) 調査方法

郵送により発送・回収した

4．回収状況

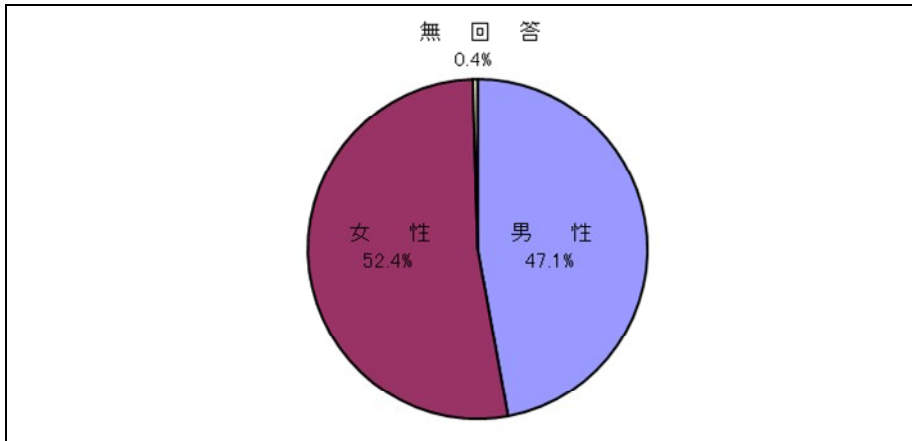
1,118 枚回収（回収率 44.7%）

第2章 集計結果

1. 基本的事項

(1) 性別(問1)

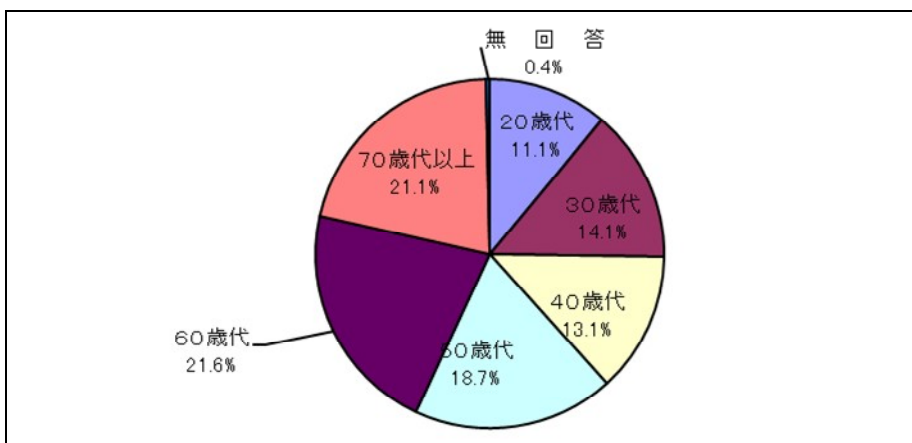
回答者の性別は、「男性」47.1%、「女性」52.4%であった。男女の割合は昨年度とほぼ同じであり、市政やまちづくりに対して「女性」の関心が若干高いことがうかがえる。



(2) 年齢(問2)

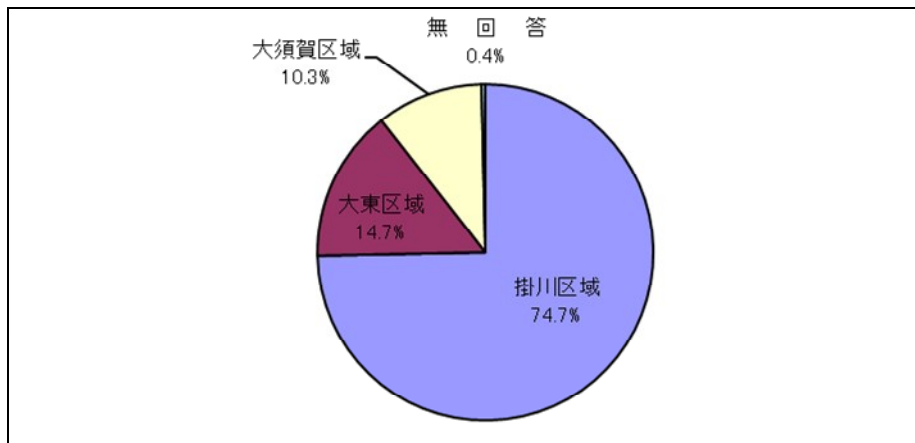
回答者の年齢は、若年層(20歳代・30歳代)の割合が25.2%、中年層(40歳代・50歳代)の割合が31.8%、高年層(60歳代・70歳代以上)の割合が42.7%であった。

22年度調査と同様、本調査結果には高年層の意向が多少強く反映されていることがうかがえる。



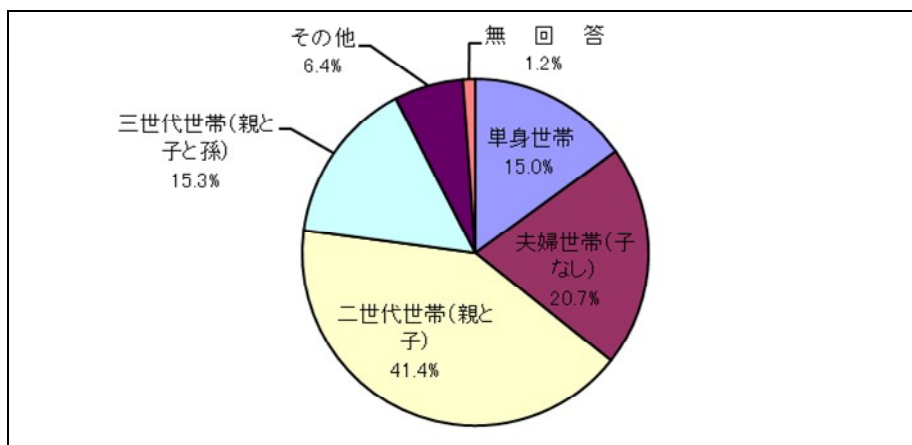
(3) 住まい (問 3)

回答者の住まいは、「掛川区域」74.7%、「大東区域」14.7%、「大須賀区域」10.3%であった。各地区の割合は昨年度とほぼ同様である。



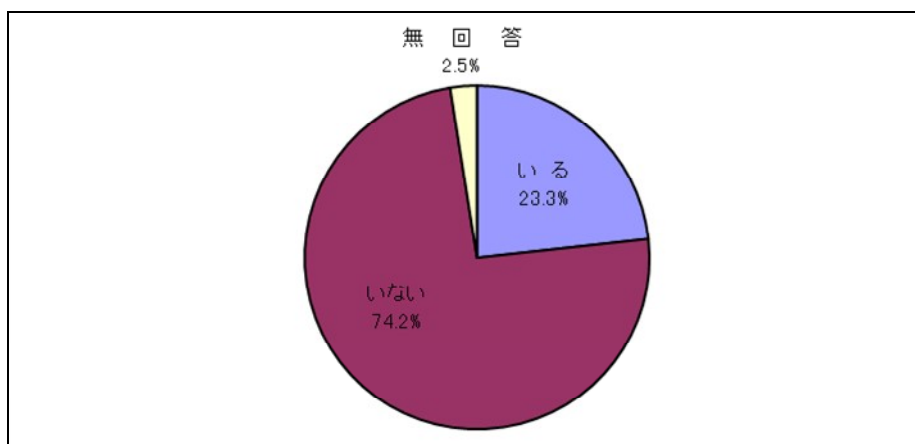
(4) 家族構成 (問 4)

回答者の家族構成は、「二世帯世帯 (親と子) 」と「夫婦世帯 (子なし) 」が 62.1%であった。核家族が主流になっており、単身世帯が 2.9%増えている。



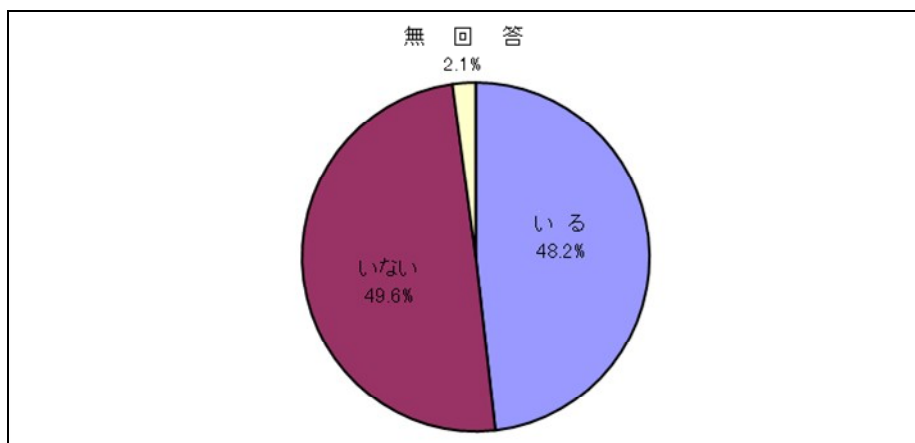
(5) 高校生以下の子どもの有無(問5)

回答者の子どもの有無(高校生以下)は、「いない」が74.2%で7割以上であり、22年度より1%増加していることから、ひきつづき少子化の傾向が続いていることがうかがえる。



(6) 65歳以上の家族の有無(問6)

回答者の65歳以上の家族の有無は、「いる」が48.6%となった。22年度調査より4.2%減少したが、21年度調査とほぼ同じ割合である。

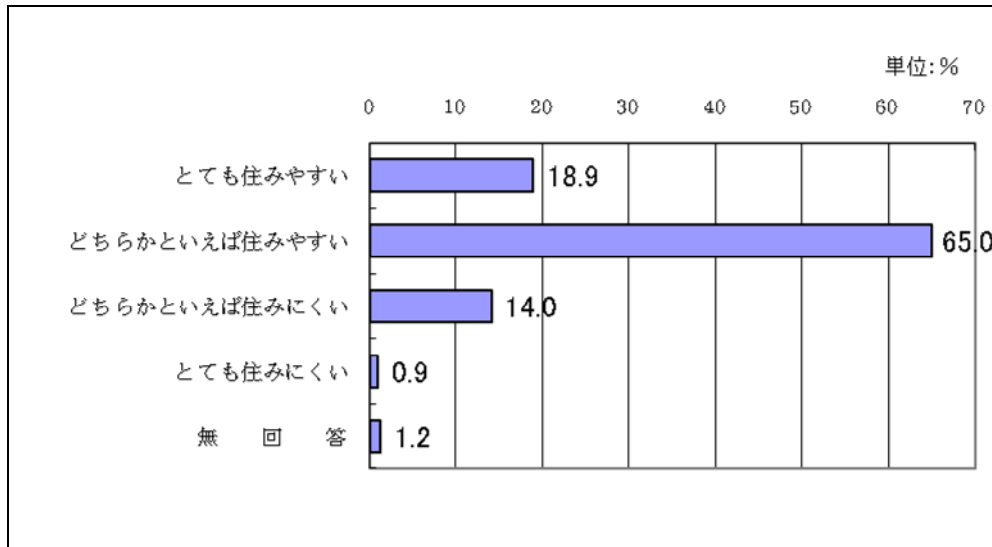


(7) 住みやすさ(問7)

「どちらかといえば住みやすい」が65.0%と最も多く、「とても住みやすい」18.9%とあわせると83.9%の市民が住みやすいと感じていることがうかがえる。

住みやすいと感じる市民の割合は昨年度に比べ2.1%増加し、年々増加する傾向にある。

一方、「どちらかといえば住みにくい」、「とても住みにくい」を併せた数は14.9%で前回調査より1%減少した。

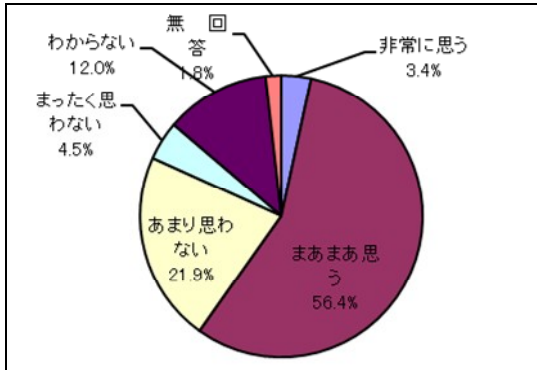


2. 政策の実施効果

<8-1> 総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱 1

掛川市は、安心して子どもを生み育てる環境が整っているまちだと思いますか？

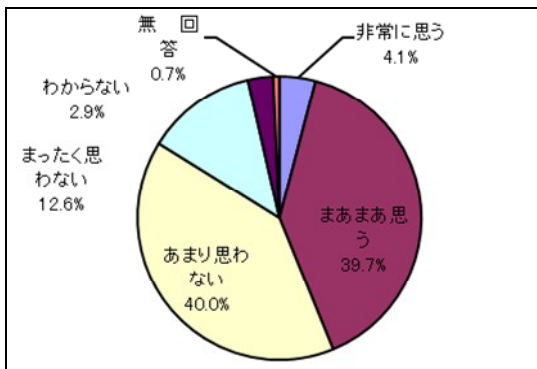


「非常に思う」3.4%、「まあまあ思う」56.4%と肯定的回答が59.8%となり、22年度調査より5.4ポイント増加した。しかし、「あまり思わない」21.9%、「まったく思わない」4.5%と否定的回答も依然として26.4%みられる。

<8-2> 総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱 2

掛川市は、病気やケガなど万一時、いつでも安心した医療が受けられるまちだと思いますか？

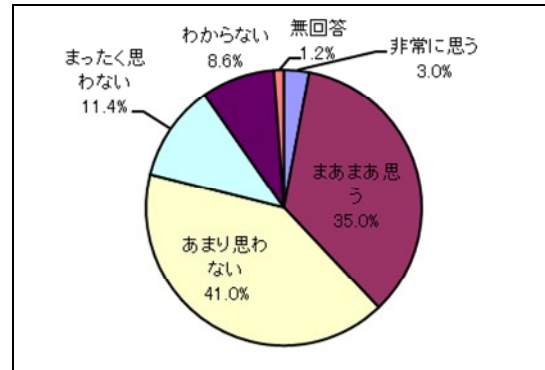


「非常に思う」4.1%、「まあまあ思う」39.7%となり、22年度に引き続き肯定的回答が半数を下回った。否定的回答では「まったく思わない」が1.9ポイント増加している。

<8-3> 総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱 3

掛川市は病人や障害者、高齢者になっても安心して暮らしていけるまちだと思いますか？

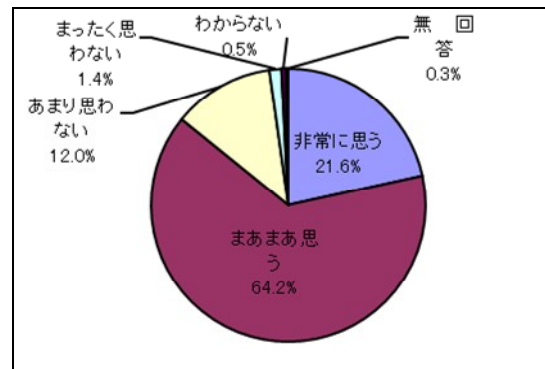


「非常に思う」3.0%、「まあまあ思う」35.0%であり、肯定的回答は昨年度より2.5ポイント増加したが、依然否定的回答が半数以上を占めている。

<8-4> 総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱 1

あなたは常日頃、ごみの減量化、節水、電気使用量の削減など地球環境保全のために行動していると思いますか？

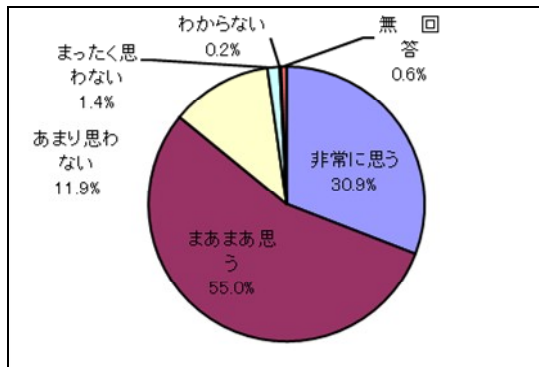


「非常に思う」21.6%、「まあまあ思う」64.2%と肯定的回答は前回調査とほぼ同じく高い割合である。環境に対する意識が広く市民に浸透・定着しつつあることがうかがえる。

<8-5> 総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱2

あなたは、豊かな自然を身近に感じて暮らしていると思いますか？

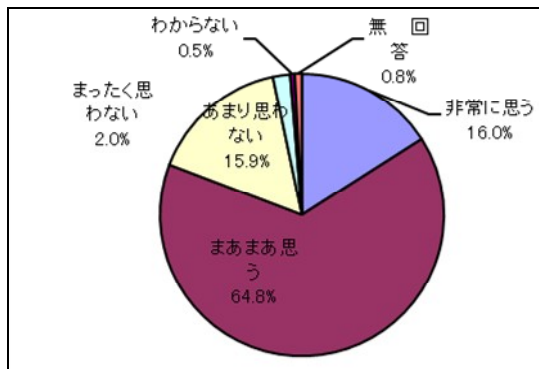


「非常に思う」が30.9%、「まあまあ思う」が55.0%となった。22年度調査の「非常に思う」27.6%、「まあまあ思う」56.3%と同様、肯定的回答が非常に高い数値を得た。

<8-6> 総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱3

あなたがお住まいの地域は、清潔できれいな生活環境が保たれていると思いますか？

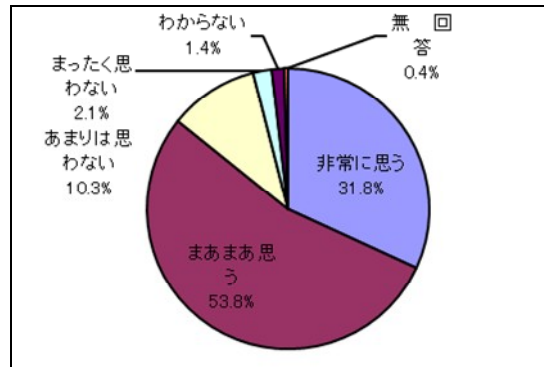


「非常に思う」が16.0%、「まあまあ思う」が64.8%となった。22年度調査の「非常に思う」13.1%、「まあまあ思う」63.9%より肯定的回答が増加し、高い数値を得た。

<8-7> 総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱3 基本計画3

あなたは、上水道が安心して飲め、断水などが無く、安定して供給されていると思いますか？

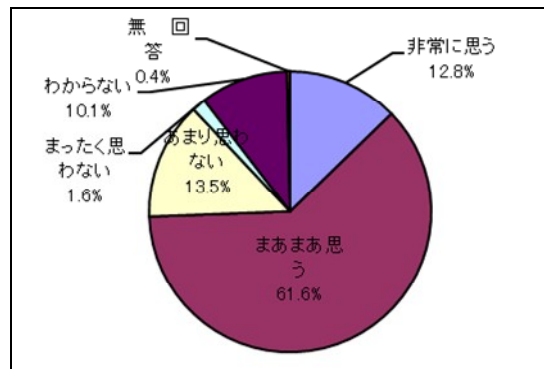


「非常に思う」が31.8%、「まあまあ思う」が53.8%となった。22年度調査の「非常に思う」29.2%、「まあまあ思う」52.1%より肯定的回答が増加し、非常に高い数値を得た。

<8-8> 総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱1

あなたは、地域の子供たちが、心身ともに健全に成長していると思いますか？

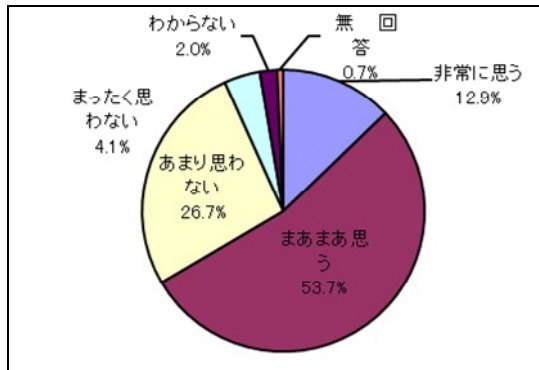


「非常に思う」が12.8%、「まあまあ思う」が61.6%となった。22年度調査の「非常に思う」9.7%、「まあまあ思う」60.0%より4.7ポイント増加し、高い数値を得た。

<8-9> 総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2

あなたは、健康に気づかい生きがいを持って人生を送れていると思いますか？

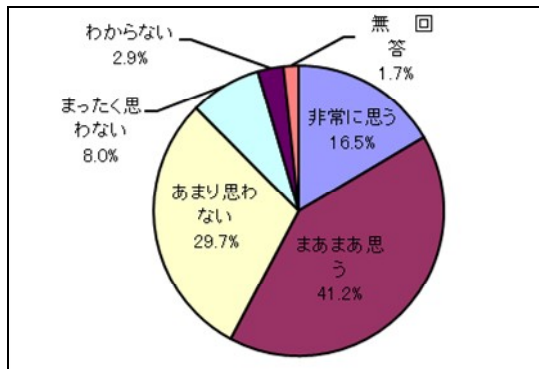


「非常に思う」が12.9%、「まあまあ思う」が53.7%となった。22年度調査の「非常に思う」11.0%、「まあまあ思う」56.3%と同様、肯定的回答が高い数値を得た。

<8-10> 総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2 基本計画1

あなたは、生きがいを感じる趣味や活動に取り組んでいますか？

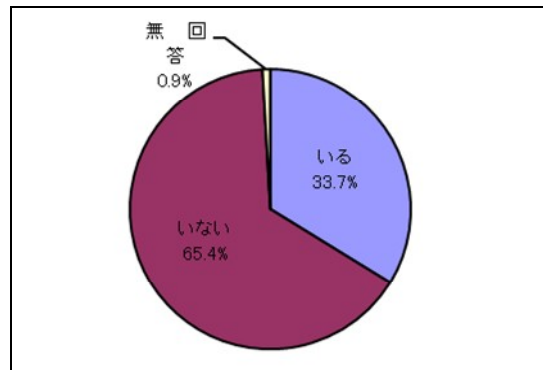


「非常に思う」が16.5%、「まあまあ思う」が41.2%となった。22年度調査の「非常に思う」15.6%、「まあまあ思う」40.3%と同様、肯定的回答が半数を超えた。しかし、否定的回答も依然37.7%を占めている。

<8-11> 総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2 基本計画2

あなたは、週1回以上スポーツやレクリエーションをしていますか？

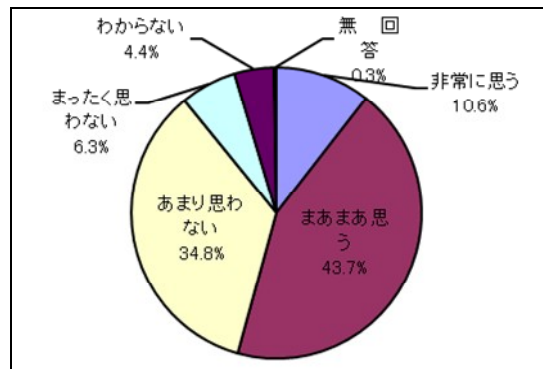


「いる」が33.7%となり、前回調査の「いる」31.9%、よりやや増加した。しかし、「いない」が65.2%であり、依然否定的回答が多くを占めている。

<8-12> 総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱3

あなたは、郷土の歴史や文化に誇りと愛着を持っていますか？

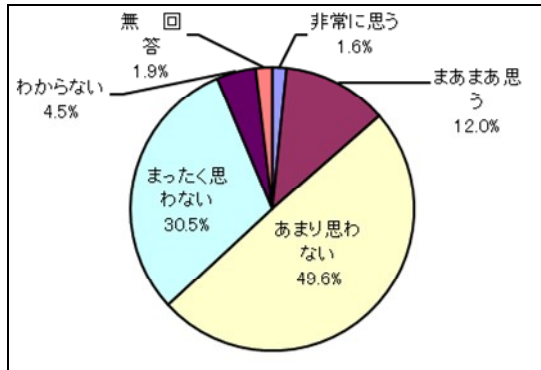


「非常に思う」が10.6%、「まあまあ思う」43.7%となった。前回調査の「非常に思う」11.8%、「まあまあ思う」42.3%と同様、肯定的回答が半数を超えた。しかし、否定的回答も依然41.1%を占めている。

<8-13> 総合計画 成果指標

産業経済分野 大綱4

掛川駅周辺の中心市街地は、魅力的で楽しい場所だと感じますか？

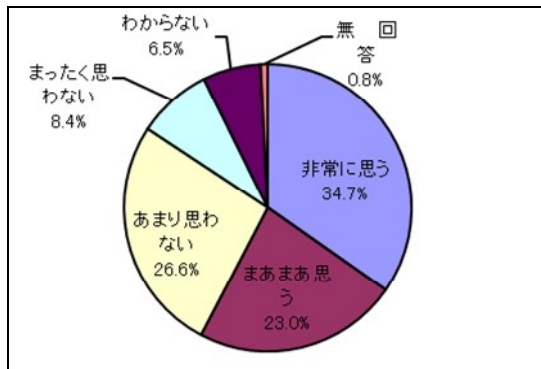


「非常に思う」が1.6%、「まあまあ思う」12.0%となった。22年調査と同様、肯定的回答が13.6%と極めて低く、否定的回答が80.1%と非常に高い結果となった。

<8-14> 総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱2

あなたは、通勤・通学・通院・買い物などに出かける時にバスや鉄道に不便を感じますか？

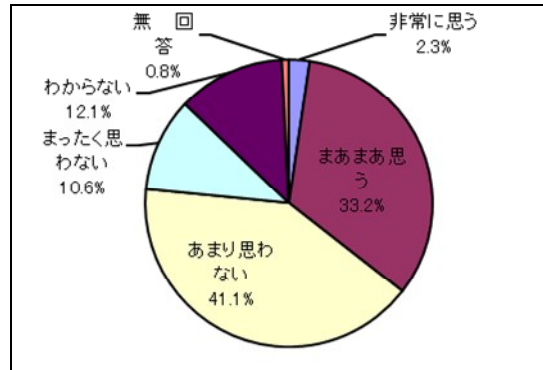


「非常に思う」34.7%、「まあまあ思う」23.0%となった。22年度調査の「非常に思う」30.8%、「まあまあ思う」22.7%より、不便を感じている市民の割合が4.2%増加した。

<8-15> 総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱3

掛川市は、計画的な土地利用や都市計画により、住宅・商業・農業・工業などがバランス良く配置されているまちだと思いますか？

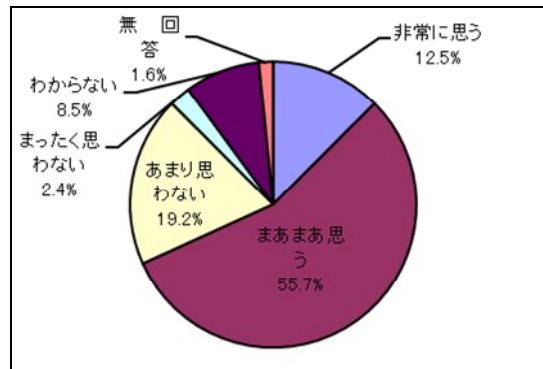


「非常に思う」が2.3%、「まあまあ思う」が33.2%となった。22年度調査の「非常に思う」1.7%、「まあまあ思う」30.9%より肯定的回答がやや増加したが、否定的意見が依然半数を超えている。

<8-16> 総合計画 成果指標

防災危機管理分野 大綱1

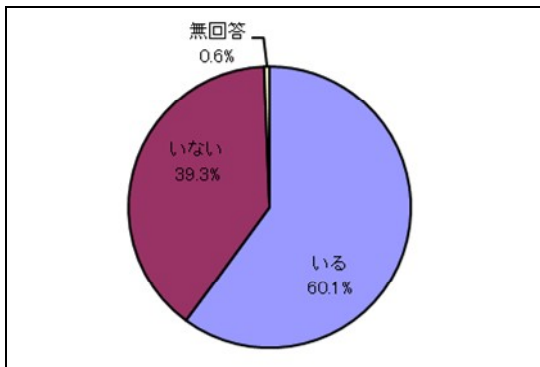
あなたは、地震発生など災害時に自分がどのように行動すれば良いか自覚していますか？



「非常に思う」が12.5%、「まあまあ思う」が55.7%となった。22年度調査の「非常に思う」10.3%、「まあまあ思う」55.0%より肯定的回答が2.9ポイント増加した。しかし、依然否定的回答も21.6%ある。

<8-17> 総合計画 成果指標

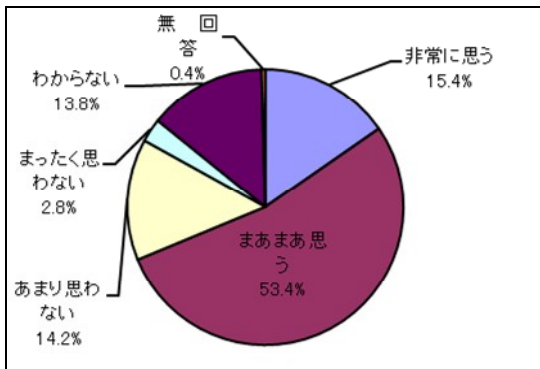
防災危機管理分野 大綱1 基本計画1
あなたは、災害に備えて水や食料など非常持ち出し品を準備していますか？



「いる」が60.1%で、22年度調査の49.8%より10.3ポイント増加した。しかし、まだ、39.3%が非常時の備えをしていない。

<8-18> 総合計画 成果指標

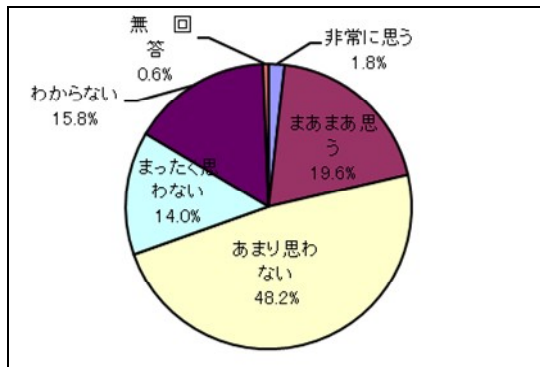
防災危機管理分野 大綱2
掛川市は、火事や急病の時に直ちに駆けつけてくれる、信頼できる消防救急体制が確保されていると思いますか？



「非常に思う」が15.4%、「まあまあ思う」53.4%であった。22年度調査の「非常に思う」13.1%、「まあまあ思う」54.9%と同様肯定的回答が6割を超えた。

<8-19> 総合計画 成果指標

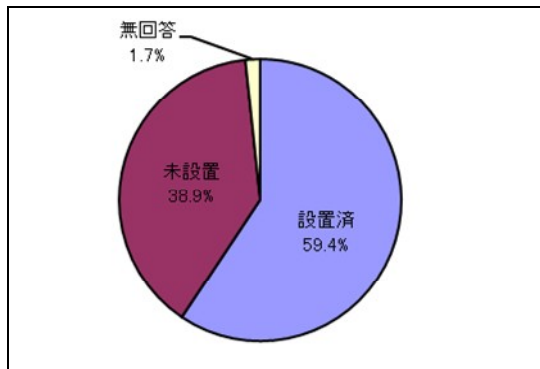
協働広域行財政分野 大綱1
あなたの力は、より良い地域づくり・まちづくりに活かされていると思いますか？



「あまり思わない」が48.2%、「まったく思わない」が14.0%であった。22年度調査の「あまり思わない」46.7%、「まったく思わない」16.2%と同様、否定的回答が6割を超えた。

<8-20>

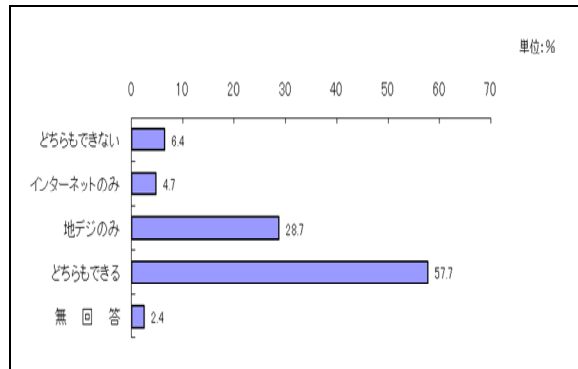
あなたの自宅には、火災警報器(煙や熱を感知して警報音を発するもの)が設置されていますか？



「設置済」が59.4%と22年度調査の57.9%より1.5ポイント増加した。依然38.9%は「未設置」である。

<8-21> 総合計画 成果指標

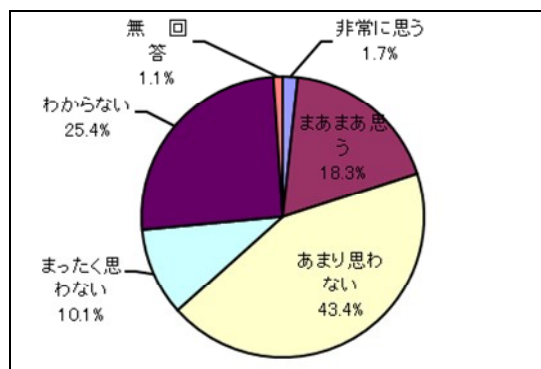
協働広域行財政分野 大綱1基本計画3
 あなたの自宅ではインターネットを利用することができますか？また、自宅のテレビで地上デジタル放送を視聴することができますか？



「どちらもできる」と回答した人の割合は57.7%となり、22年度調査より7.9ポイント増加した。インターネットは62.4%の市民が利用できる環境にあり、地デジ化への対応率は86.4%である。

<8-22> 総合計画 成果指標

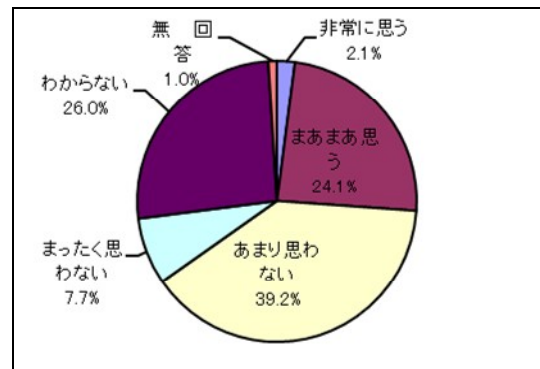
協働広域行財政分野 大綱2
 掛川市は、他の自治体に比べ行政改革が進んでいると思いますか？



「あまり思わない」が43.4%、「まったく思わない」10.1%であった。22年度調査と同じく否定的回答が半数を占めている。また、「わからない」も25.4%と比較的高い。

<8-23> 総合計画 成果指標

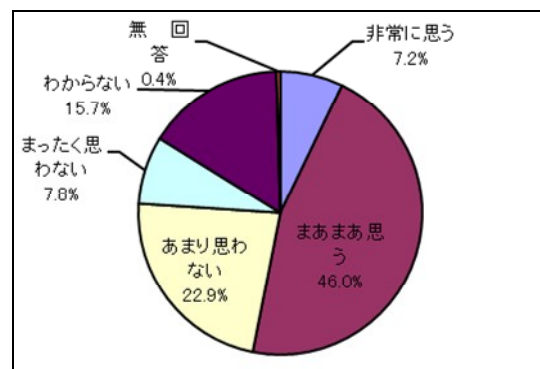
協働広域行財政分野 大綱2基本計画3
 掛川市は、他の自治体に比べ情報公開や情報提供が進んでいると思いますか？



「あまり思わない」が39.2%、「まったく思わない」が7.7%と、22年度調査同様、否定的回答が4割を超えた。また、「わからない」も26.0%と比較的高い。

<8-24> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2基本計画4
 あなたは、掛川市役所の窓口サービスが迅速で効率よく提供されていると思いますか？

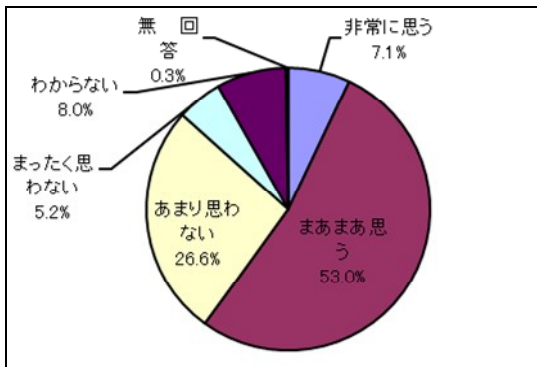


「非常に思う」が7.2%、「まあまあ思う」が46.0%であった。22年度調査の「非常に思う」5.9%、「まあまあ思う」43.7%より肯定的回答が3.6ポイント増加した。しかし、否定的回答も30.7%ある。

<8-25> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱 3

あなたがお住まいの地域は、人と人が信頼し、助け合える環境になっていると思いますか？

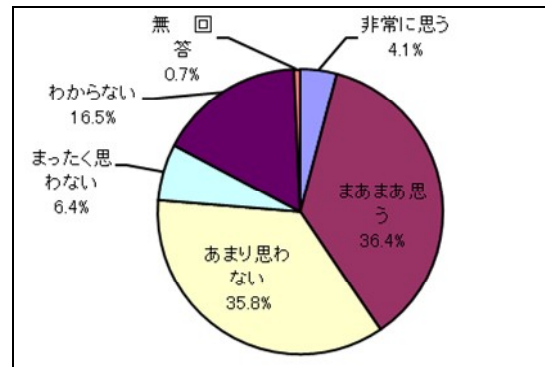


「非常に思う」が 7.1%、「まあまあ思う」が 53.0%と、肯定的回答が 22 年度調査より 1.1 ポイント増加した。しかし、否定的回答も 31.8%あるため、更なる自治組織の充実強化と活動支援が必要である。

<8-27> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱 4

あなたは、家庭・地域・職場などあらゆる場面で、男女共同参画が進んでいると思いますか。

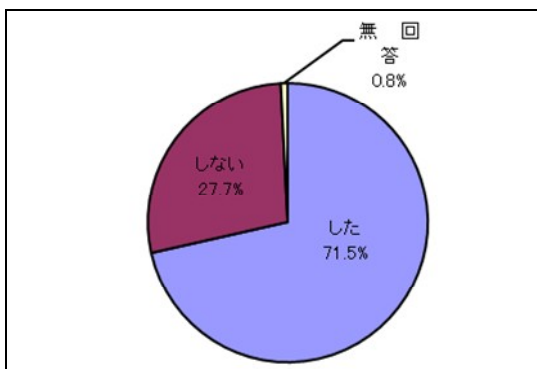


「非常に思う」が 4.1%、「まあまあ思う」が 36.4%、「あまり思わない」が 35.8%、「まったく思わない」が 6.4%であり、肯定的回答と否定的回答の割合は 22 年度調査とほぼ同様であった。

<8-26> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱 3 基本計画 1

あなたは、一年間に一回以上、地域の活動（奉仕活動やイベントなど）に参加しましたか？



「した」が 71.5%であり、22 年度調査より 2.6 ポイント減少したが、依然 7 割を超えている。

3 . 政策に対する満足度と優先度

ポートフォリオによる分析

ポートフォリオ分析とは、48 施策の満足度と優先度を点数化し、縦軸に優先度（グラフ上側がより優先度が高く、下側がより優先度が低い）を、横軸に満足度（グラフの右側がより満足度が高く、左側がより満足度が低い）をとってグラフ化し、各施策の分布状態から、効果的な投資を判断しようとするものである。座標の原点は、満足度と優先度の両者とも平均値としている。各象限に位置づけられた施策は 48 施策の比較の中では概ね次のように評価されたと考えることができる。

（ 1 ）満足度と優先度の分析結果 （ P 16 のポートフォリオグラフ表を参照 ）
 平均値 満足度：0.05 優先度：0.63

満足度も優先度も高い施策 - B ゾーン（グラフ右上側）

48 施策の比較では、満足度も優先度も高い施策となる。サービスが一定の水準に到っているが、重要度が高いことから積極的に現状維持する施策となる。

【満足度も優先度も高い施策】	満足度	優先度
・ 2 市民の健康づくり	0.39	0.92
・ 11 資源循環型社会の構築	0.65	0.83
・ 15 水質浄化の推進	0.38	0.80
・ 16 上水道の安全・安心・安定的な供給	0.78	0.95
・ 17 学校教育の充実	0.53	1.09
・ 18 乳幼児教育・保育の充実	0.10	1.15
・ 36 消防救急体制の強化	0.37	1.18
・ 37 交通安全対策の強化	0.28	0.74
・ 38 防犯対策の強化	0.14	0.91

満足度が低く、優先度が高い施策 - A ゾーン（グラフ左上側）

48 施策の比較では、満足度が低く、優先度が高い施策になる。サービスの水準が低く、重要度が高いことから、不満の解消に向けて積極的に投資すべき施策になる。

【満足度が低く優先度が高い施策】	満足度	優先度
・ 1 子育て・子ども支援の充実	0.01	1.18
・ 3 地域医療・救急医療の充実	0.26	1.40
・ 4 高度医療を支える市立総合病院の充実	0.57	1.38
・ 5 国民健康保険事業の健全運営	0.02	0.81
・ 6 障害者福祉の充実	0.01	0.99
・ 7 高齢者福祉の充実	0.03	0.98
・ 10 地球環境の保全・地球温暖化の防止	0.00	0.90
・ 23 商工業の振興	0.57	0.86
・ 24 雇用の確保や勤労者福祉の充実	0.64	1.12
・ 28 農業の振興	0.17	0.78

	満足度	優先度
・ 34 防災体制の強化	0.25	1.39
・ 35 住宅や公共施設の耐震化など災害対策の強化	0.28	1.41
・ 42 行政改革の推進	0.42	0.85
・ 43 財政構造改革の推進	0.60	0.99

満足度も優先度も低い施策 - Cゾーン（グラフ左下側）

48 施策の比較では、満足度も優先度も低い施策になる。サービスの水準は低いが、重要度も低いので、市民の不満の要因を把握しながらも、当面、現状を注視する施策となる。

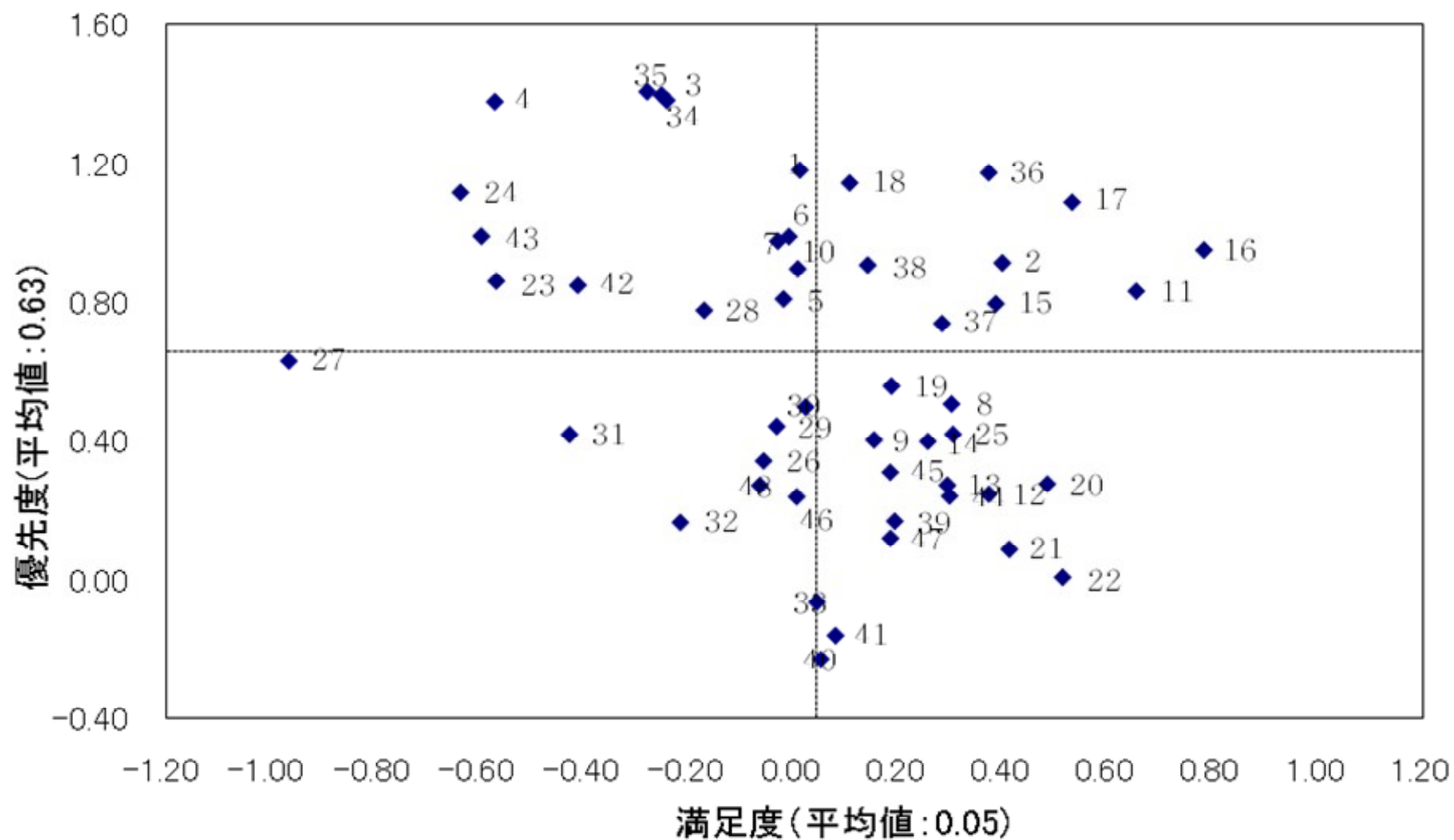
【満足度も優先度も低い施策】	満足度	優先度
・ 26 観光の振興	0.06	0.34
・ 27 市街地の活性化	0.97	0.63
・ 29 幹線道路の整備	0.04	0.44
・ 30 生活道路の整備	0.02	0.50
・ 31 公共交通の利便性向上	0.43	0.42
・ 32 計画的でバランスの取れた土地利用の推進	0.22	0.17
・ 33 住宅・住宅地の供給促進	0.04	0.06
・ 46 広域行政への取り組み	0.00	0.24
・ 48 男女共同参画の推進	0.07	0.27

満足度が高く優先度は低い施策 - Dゾーン（グラフ右下側）

48 施策の比較では、満足度が高く、優先度が低い施策になる。サービスが一定の水準に到っていることから、今後、縮小を検討する施策になる。

【満足度が高く優先度は低い施策】	満足度	優先度
・ 8 地域福祉活動の推進	0.30	0.51
・ 9 人権教育・生活保護福祉の充実	0.15	0.40
・ 12 森林や自然環境の整備・保全・活用	0.37	0.25
・ 13 公園緑地の整備・緑化の推進	0.29	0.27
・ 14 公害防止・環境衛生の向上	0.25	0.40
・ 19 青少年の健全育成	0.18	0.56
・ 20 生涯教育の充実	0.48	0.28
・ 21 生涯スポーツの実践と普及	0.41	0.09
・ 22 歴史や文化の伝承・保存・活用	0.51	0.01
・ 25 安全・安心な消費生活の確保	0.30	0.42
・ 39 市民活動の活性化	0.18	0.12
・ 40 国内・国際交流の推進と外国人の共生	0.05	0.23
・ 41 高度情報通信技術（ICT）の利活用	0.08	0.16
・ 44 市民参画、情報公開の推進	0.29	0.24
・ 45 行政事務の電子化による市民サービスの向上	0.18	0.31
・ 47 地域コミュニティの推進	0.19	0.17

■市民意識調査のポートフォリオ分析

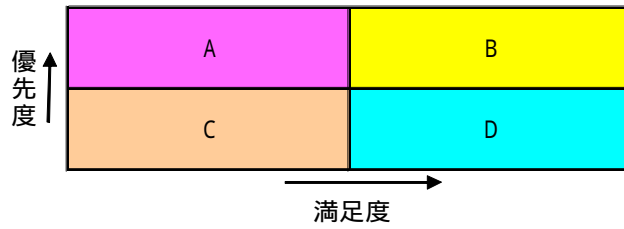


(凡例)

A	B
C	D

- Aゾーン: 積極的投資する施策分野
- Bゾーン: 積極的に現状維持する施策分野
- Cゾーン: 現状維持する施策分野
- Dゾーン: 投資量を縮小する施策分野

(2)象限(ゾーン)別の経年変化



区分	H21
A ゾーン	1 子育て・子ども支援
	3 地域医療・救急医療
	4 市立総合病院
	5 国民健康保険
	6 障害者福祉
	7 高齢者福祉
	23 商工業の振興
	24 雇用対策・勤労者福祉
	28 農業振興
	35 耐震・防災基盤
	42 行政改革
	43 財政構造改革

H22
1 子育て・子ども支援
3 地域医療・救急医療
4 市立総合病院
5 国民健康保険
6 障害者福祉
7 高齢者福祉
23 商工業の振興
24 雇用対策・勤労者福祉
27 中心市街地
28 農業振興
42 行政改革
43 財政構造改革

H23
1 子育て・子ども支援
3 地域医療・救急医療
4 市立総合病院
5 国民健康保険
6 障害者福祉
7 高齢者福祉
10 地球環境保全
23 商工業の振興
24 雇用対策・勤労者福祉
28 農業振興
34 防災体制
35 耐震・防災基盤
42 行政改革
43 財政構造改革

B ゾーン	2 保健予防
	10 地球環境保全
	11 廃棄物処理
	15 下水道
	16 上水道
	17 学校教育
	18 幼稚園・保育園
	19 青少年健全育成
	34 防災体制
	36 消防救急体制
	37 交通安全
	38 防犯

2 保健予防
10 地球環境保全
11 廃棄物処理
15 下水道
16 上水道
17 学校教育
18 幼稚園・保育園
34 防災体制
35 耐震・防災基盤
36 消防救急体制
37 交通安全
38 防犯

2 保健予防
11 廃棄物処理
15 下水道
16 上水道
17 学校教育
18 幼稚園・保育園
36 消防救急体制
37 交通安全
38 防犯

C ゾーン	26 観光振興
	27 中心市街地
	29 幹線道路整備
	30 生活道路整備
	31 公共交通
	32 土地利用
	40 国際交流・外国人共生
	46 広域行政
48 男女共同参画	

26 観光振興
29 幹線道路整備
30 生活道路整備
31 公共交通
32 土地利用
33 住宅・宅地
48 男女共同参画

26 観光振興
27 中心市街地
29 幹線道路整備
30 生活道路整備
31 公共交通
32 土地利用
33 住宅・宅地
46 広域行政
48 男女共同参画

D ゾーン	8 地域福祉
	9 人権・生活保護
	12 森林・自然
	13 公園緑地
	14 公害防止・環境保全
	20 生涯学習
	21 スポーツ・レクリエーション
	22 歴史・文化
	25 消費生活
	33 住宅・宅地
	39 協働まちづくり
	41 高度情報化(ICT)
	44 市民参画・情報公開
	45 市役所サービス
	47 地域コミュニティ

8 地域福祉
9 人権・生活保護
12 森林・自然
13 公園緑地
14 公害防止・環境保全
19 青少年健全育成
20 生涯学習
21 スポーツ・レクリエーション
22 歴史・文化
25 消費生活
39 協働まちづくり
40 国際交流・外国人共生
41 高度情報化(ICT)
44 市民参画・情報公開
45 市役所サービス
46 広域行政
47 地域コミュニティ

8 地域福祉
9 人権・生活保護
12 森林・自然
13 公園緑地
14 公害防止・環境保全
19 青少年健全育成
20 生涯学習
21 スポーツ・レクリエーション
22 歴史・文化
25 消費生活
39 協働まちづくり
40 国際交流・外国人共生
41 高度情報化(ICT)
44 市民参画・情報公開
45 市役所サービス
47 地域コミュニティ

(3)「満足度」の経年変化

考察

順位	H21	H22	前年との 順位比	H23	前年との 順位比
1位	上水道	上水道		上水道	
2位	廃棄物処理	廃棄物処理		廃棄物処理	
3位	歴史・文化	生涯学習		学校教育	
4位	学校教育	学校教育		歴史・文化	
5位	生涯学習	歴史・文化		生涯学習	
6位	消防救急体制	消防救急体制		スポーツ・レクリエーション	
7位	スポーツ・レクリエーション	市民参画・情報公開		保健予防	
8位	森林・自然	スポーツ・レクリエーション		下水道	
9位	交通安全	森林・自然		森林・自然	
10位	保健予防	保健予防		消防救急体制	
11位	市民参画・情報公開	下水道		消費生活	
12位	協働まちづくり	交通安全		地域福祉	
13位	公害防止・環境保全	公害防止・環境保全		市民参画・情報公開	
14位	公園緑地	協働まちづくり		公園緑地	
15位	青少年健全育成	地域コミュニティ		交通安全	
16位	地域コミュニティ	地球環境保全		公害防止・環境保全	
17位	市役所サービス	公園緑地		地域コミュニティ	
18位	下水道	地域福祉		青少年健全育成	
19位	幼稚園・保育園	消費生活		協働まちづくり	
20位	地域福祉	市役所サービス		市役所サービス	
21位	高度情報化(ICT)	高度情報化(ICT)		人権・生活保護	
22位	防災体制	防災体制		防犯	
23位	消費生活	国際交流・外国人共生		幼稚園・保育園	
24位	人権・生活保護	人権・生活保護		高度情報化(ICT)	
25位	防犯	防犯		国際交流・外国人共生	
26位	地球環境保全	耐震・防災基盤		住宅・宅地	
27位	住宅・宅地	幼稚園・保育園		生活道路整備	
28位	男女共同参画	青少年健全育成		子育て・子ども支援	
29位	耐震・防災基盤	広域行政		地球環境保全	
30位	観光振興	男女共同参画		広域行政	
31位	広域行政	住宅・宅地		障害者福祉	
32位	高齢者福祉	観光振興		国民健康保険	
33位	生活道路整備	高齢者福祉		高齢者福祉	
34位	国際交流・外国人共生	生活道路整備		幹線道路整備	
35位	幹線道路整備	国民健康保険		観光振興	
36位	子育て・子ども支援	子育て・子ども支援		男女共同参画	
37位	障害者福祉	障害者福祉		農業振興	
38位	地域医療・救急医療	幹線道路整備		土地利用	
39位	国民健康保険	地域医療・救急医療		防災体制	
40位	土地利用	土地利用		地域医療・救急医療	
41位	公共交通	農業振興		耐震・防災基盤	
42位	農業振興	公共交通		行政改革	
43位	行政改革	行政改革		公共交通	
44位	商工業の振興	市立総合病院		商工業の振興	
45位	市立総合病院	商工業の振興		市立総合病院	
46位	雇用対策・勤労者福祉	財政構造改革		財政構造改革	
47位	財政構造改革	雇用対策・勤労者福祉		雇用対策・勤労者福祉	
48位	中心市街地	中心市街地		中心市街地	

分野別	「満足度」の経年変化における特筆点
保健医療福祉分野	「地域福祉」、「障害者福祉」の満足度が大幅に上昇した。医療に関する項目の「地域医療・救急医療」及び「市立総合病院」の満足度は、毎年下位で推移している。分野全体の満足度は、21年度 -0.19 22年度 -0.05 23年度 0.00とやや上昇傾向にあるが、平均以下である。
環境生活分野	環境生活分野は、毎年、満足度が最も高い分野である。各項目に大きな順位の変化は見られないが、「下水道」が上昇傾向にある。分野全体の満足度は、21年度 0.24 22年度 0.38 23年度 0.39となっている。
教育文化分野	教育文化分野は、毎年、比較的上位に位置している。しかし、その中で「幼稚園・保育園」、「青少年健全育成」については中位に位置することが多く、年毎の順位の変動も大きい。分野全体の満足度は、21年度 0.28 22年度 0.33 23年度 0.37となっている。
産業経済分野	産業経済分野は、毎年、下位に多く位置している。「観光振興」が下降傾向に、「消費生活」、「農業振興」が上昇傾向にある。「雇用対策・勤労者福祉」については、長引く不況のため、低迷しているものと推測される。「中心市街地」に関しては、毎年最下位となっている。分野全体の満足度は、21年度 -0.50 22年度 -0.43 23年度 -0.35となっている。
都市基盤分野	都市基盤分野は、毎年、中・下位に位置している。「公共交通」の順位が若干ではあるが年々下降している。分野全体の満足度は、21年度 -0.22 22年度 -0.17 23年度 -0.13となっている。
防災危機管理分野	防災危機管理分野は、毎年、上・中位に位置していたが、本年度は「防災体制」、「耐震・防災基盤」の順位が大幅に下がった。これは、東日本大震災の発生に起因すると思われる。分野全体の満足度は、21年度 0.09 22年度 0.20 23年度 0.05であり、分野別では今回唯一満足度が下降した。
協働・広域・行財政分野	協働・広域・行財政分野は、「行政改革」、「財政構造改革」は順位の変動は少なく、毎年下位に位置している。分野全体の満足度は、21年度 -0.28 22年度 0.14 23年度 0.14となっている。

(4)「優先度」の経年変化

考察

順位	H21	H22	前年との 順位比較	H23	前年との 順位比較	区分	「優先度」の経年変化 における特筆点	コメント
1位	地域医療・救急医療	地域医療・救急医療		耐震・防災基盤		第1位 グループ	優先度上位3項目は22年度 まで3年連続して順位変動 がなかったが、本年度は「耐 震・防災基盤」「防災体制」の 優先度が上昇した。	防災関係の優先度が急上 昇した。これは、東日本大 震災の発生に起因すると 思われる。また、地域の医 療体制、子育てに関する 関心も引き続き高い。
2位	市立総合病院	市立総合病院		地域医療・救急医療				
3位	子育て・子ども支援	子育て・子ども支援		防災体制				
4位	財政構造改革	雇用対策・勤労者福祉		市立総合病院				
5位	幼稚園・保育園	財政構造改革		子育て・子ども支援				
6位	雇用対策・勤労者福祉	幼稚園・保育園		消防救急体制				
7位	障害者福祉	消防救急体制		幼稚園・保育園				
8位	学校教育	耐震・防災基盤		雇用対策・勤労者福祉				
9位	保健予防	障害者福祉		学校教育				
10位	耐震・防災基盤	保健予防		財政構造改革				
11位	防災体制	学校教育		障害者福祉				
12位	防犯	防災体制		高齢者福祉				
13位	消防救急体制	防犯		下水道				
14位	高齢者福祉	高齢者福祉		保健予防				
15位	行政改革	下水道		防犯				
16位	下水道	行政改革		地球環境保全		第2位 グループ	防災関係の優先度が上昇し た影響で順位が下がったも のはあるが、「学校教育」「財 政構造改革」などこのグル ープに含まれる項目は常に順 位が高い。「下水道」が若干 上昇傾向にある。	健康や安心・安全・安定的 な生活に関わる施策の優 先度が常に高い。
17位	国民健康保険	商工業の振興		商工業の振興				
18位	地球環境保全	国民健康保険		行政改革				
19位	廃棄物処理	地球環境保全		廃棄物処理				
20位	下水道	廃棄物処理		国民健康保険				
21位	商工業の振興	下水道		下水道				
22位	農業振興	農業振興		農業振興				
23位	青少年健全育成	交通安全		交通安全				
24位	交通安全	中心市街地		中心市街地				
25位	中心市街地	青少年健全育成		青少年健全育成				
26位	公共交通	消費生活		地域福祉		第3位 グループ	「防犯」「国民健康保険」 「行政改革」の順位が、若干 ではあるが年々下降してい る。	前回調査に比べ、環境生 活分野に関する項目が上 昇した。 「下水道」「廃棄物処理」は 満足度が常に高い項目で あるが、優先度も上昇し た。
27位	消費生活	生活道路整備		生活道路整備				
28位	生活道路整備	地域福祉		幹線道路整備				
29位	地域福祉	公園緑地		消費生活				
30位	幹線道路整備	市役所サービス		公共交通				
31位	公園緑地	公害防止・環境保全		人権・生活保護				
32位	公害防止・環境保全	観光振興		公害防止・環境保全				
33位	市役所サービス	幹線道路整備		観光振興				
34位	人権・生活保護	公共交通		市役所サービス				
35位	市民参画・情報公開	人権・生活保護		生涯学習				
36位	男女共同参画	広域行政		公園緑地		第4位 グループ	このグループの中ではあまり 順位変動は見られなかつ た。「中心市街地」につい ては、満足度は毎年最下位 であるが、優先度は前回調査 とほぼ変わらず中位であ った。 「幹線道路整備」が前回調査 と比べて急上昇した。	「中心市街地」につい ては、引き続き、満足はして いないが、それほど優先す べき施策でもないとの評価 になった。
37位	広域行政	市民参画・情報公開		男女共同参画				
38位	観光振興	男女共同参画		森林・自然				
39位	森林・自然	森林・自然		市民参画・情報公開				
40位	生涯学習	生涯学習		広域行政				
41位	地域コミュニティ	地域コミュニティ		地域コミュニティ				
42位	協働まちづくり	協働まちづくり		土地利用				
43位	土地利用	スポ・ツ・レクリエーション		協働まちづくり				
44位	スポ・ツ・レクリエーション	土地利用		スポ・ツ・レクリエーション				
45位	住宅・宅地	歴史・文化		歴史・文化				
46位	歴史・文化	住宅・宅地		住宅・宅地		第5位 グループ	前回調査に比べて、「生涯学 習」について大幅に順位が 上がり、「公園緑地」につい ては大幅に順位が下が った。	「生涯学習」については毎 年満足度が高いが、さらに 施策や各種活動を推し進 めるべきとする市民も多い ことがうかがえる。
47位	高度情報化(ICT)	高度情報化(ICT)		高度情報化(ICT)				
48位	国際交流・外国人共生	国際交流・外国人共生		国際交流・外国人共生				
						第6位 グループ	前回調査と比較して、このグ ループ内の大きな順位変動 はみられない。	市民が一般的な生活をす る上での緊急性が低いた めか、優先度は毎年下位 で推移している。
						第7位 グループ	毎年、このグループ内の順 位変動はほとんどない。	このグループは優先度の評価 点がマイナスとなっており、市民 は優先する必要性はないと感 じていることがうかがえる。

第3章 自由回答結果（主な意見）

【保健医療福祉分野】

高齢者優先すぎて子育て世代若者は掛川に魅力を感じなく出て行く人が多いのではないかと感じる。子育て世代ですが、サービスが悪すぎます。予防接種の知らせ、受ける時期は自分で調べなければならない。

子供の健診に時間がかかりすぎる。眠くなってきたりぐずり出す子もいる。どうかしてもらいたい。

児童交流館と22世紀の丘公園はのびのびと遊ぶ事ができてよい。健全な子育てには必要な施設であり大変満足しています。これには大きな拍手を送ります。

学童保育を各小学校に設けて、小学4年生か5年生位までやってもらいたい。

不妊治療の助成金制度を設けて欲しい。菊川市は市の負担があるようです。産みたい、産める環境をもう少し整えて欲しい。

以前住んでいた袋井市は、子供を育てていくにあたり、非常に良かったです。仕事の都合により掛川市に来ましたが、子育てをしていく上で不安な点が多く感じます。

出産のお祝い金が廃止になってしまったのは非常に残念です。お金(祝い金)の代わりに掛川の商店街で使える商品券など、少子化対策の為に簡単に廃止せず考えて欲しいです。

学童保育料が高い。鎌倉出身ですが、向こうより2000円～7000円も高いのはなぜ？

育児手当は公立の場で使うこと(公立保育、幼稚園のみ)勝手に私立に行く人はやらなくてよい。

お茶と健康に関する研究機関を立ち上げてください。

乳ガン検診の助成年齢が高すぎる。もっと早くから助成してくれないと健診が受けられない。

かかりつけ医院というが、医師や看護師の中には自分の言ったことに責任を持ってもらいたい。そのときそのときで言うことが違うときがあり気分が悪いことがある。

24時間、いつでも診てもらえる救急病院又は保健所(浜松市のように)を作って欲しいです。

掛川病院の合併は反対です。交通の便が遠くて病気になった時に一人でいけないので本当に困ります。

市民が安心して生活できる掛川市に少しでも私達でお手伝いできればいいかなと思っています。特に近くに新病院ができるのはとても安心で心強く思います。これからも市長さんをはじめとがんばっていただきたく思います。

市東部に住むものには市立病院が遠くなるのがとてもつらい。タクシーを利用するが車に乗れる家族が無いので。事に整形外科は個人医が中心部にも無いので大変困る。他の医師は町部にあるが、どうか東部に整形外科医を配置してもらいたい。

新病院の経費の返済の用途を明らかにすべきだ。

市立病院は様々な理由で夜間等の受け入れを拒否するが多いように思う。特に妊婦についての受け入れは「市立病院の産科に通っていないとNG」と断られたケースを知っているが「市民の救急指定医」としての意味がないのでは？

アンケートも必要ですがもっと人間らしい医者を病院に入れてください。

休日の医療センターでの診療で、「ここでは検査設備がない」と言われることがあるが、それなら検査設備がある市立病院で休日の診療を行ったらよいのでは。

磐田市・袋井市などと協議をして南部への病院の建設を至急して欲しい。

病院での診療待ち時間の短縮、待ち時間3時間以上は苦痛です。(特に高齢者)

病院の救急に内科、外科の先生をおくべきではないでしょうか？

今年1月2月に足が急に痛くなり、市立病院に午後行きましたけど、午後は駄目と断られました。救急車で来れば診察しますといわれました。なんかおかしいと思います。

市民病院の使用が紹介がないとダメな所が不便だと思います

市民病院等での未払いの方が多数いるそうです。未払いのまま新たに診療を受け、未払いのまま帰って行くという方もいます。広報かけがわりにそのことを載せて市民の皆さんに知ってもらえたらと思います。なおさら赤字になってしまいます…。モラルの問題だと思いますが職員やお金をきちんと払っている人の気持ちになって欲しいです。市民はこのことをきちんと知るべきです。

学生(大学生など)に対しての、国民年金の支払い方法について、1年分の銀行振り込み用紙が届きますが、一括で支払うので1年分の用紙は必要ありません。かなりの無駄だと思います。今一度考えてみて下さい。事前に確認する事、方法はありますか。

障害者へのサービスや配慮が全然たりない。障害児が卒業して働くときの配慮も全然たりないし働くための施設がまったくたりない。ほかの県に比べて遅れていると思います。もっと考えるべきだし勉強して欲しい。

最近では市役所では高齢者に対する温かみが少ないと思います。高齢者医療保険料ももうすこし考えて欲しい。出すことが多すぎると思う。

重篤な症状だと浜松等の病院に行かなければならないのは、本人も看護する家族も日常生活を送りにくくなるので困る。

掛川市で運営していける老人福祉施設をもっと沢山安定供給してほしい。老人の人数(人口)が今よりも増え続けます。順番待ちの方々が多いですから。

仕事の幅を多く。定年制があるので60を過ぎると居場所が狭くなるので、健康ならまだまだ働ける年齢なので充実を計ってください。

介護施設の利用も安く入居出来るシステムがあったら幸いと思います。人間は死ぬまで働かないと食べていけない世の中だと思いますので、ぜひとも国民の目線で考えてほしいです。

高齢者が暮らしやすいコミュニティを駅前の商店街に作ってください。その周辺に高齢者をケアする若者や外国人が住めるようなアパートを増やしてください。

高齢者や一人暮らしの人にとっては少し住みにくい環境だと思います。スーパー、病院等が歩いて行けるところにないと大変だと思います。

高齢者からの引き落としが残酷です。今の子どもは親に必要な資産をあげる息子はいないのです。若い家庭も生活が精一杯でしょうから、結局年金のみ、それから強制的に落としていくのはひどい事だと思います。

年々増加する老人のための施設は大規模でなくても各地域にあれば雇用の面でもいいのではないのでしょうか。

どのような方法で生きがいグループなどのお世話をする人の人選を行っているのですか？お年寄りには敏感です。面接等しっかりやって適任者を選んで欲しいです。

生活保護者について、保護といいますが生活保護者の生活実態をしっかり把握していますか？彼らの生活は目に余るものがあります。ギャンブル、高価な買い物をしている事知っていますか？生活保護者には、奉仕作業などしてもらってもいいと思います。お金をもらうことが普通になっているようでは困ります。私たちの税金で生活しているんですから、しっかりと分かってもらうことは当たり前なことです。

社協での変な企画やめてください。

【環境生活分野】

原子力発電に頼らない電力。風力や太陽光などもう少し考えて欲しい。以前波で発電ができることを聞いたことがありますか？

太陽光発電全世帯実施を押し進めてください。助成してください。余剰の電気を市が買取して中電に売って市の利益にしてください。(太陽光発電パネル設置に対して、市でかなりの割合で助成すれば市民は納得するはずです。)

通勤ばかりなので、まだ掛川のことがよく分からず、子どもたちも県外で 1 人暮らしなので教育も関わりがなく、答えられるところが少なくすみません。アパートなので年間のごみ回収予定や広報等もこないで、行政の情報は来ないです。ごみの年間予定だけは欲しいです。

年間を通して、市内の街路樹の落葉を 50 坪ばかりの家庭菜園に運んで肥料代わりに活用して、大変良質な野菜を収穫しています。年間では、大変な量のゴミ減量に貢献していると自尊しています。行政の力で特定農家等に働きかけ、活用のシステムづくりを行えば資源活用と併せ、ゴミ減量に役立つと思います。

粗大ゴミは各自で運搬の為、運搬用の車もなくいつまでたっても捨てる事が出来ず困ります。他市の人に聞くとも無料で収集してくれる日があったりしてうらやましいです。行政サービスとして一考頂きたく存じます。高齢化社会になればますます各自で捨てる事が出来なくなりごみ屋敷化していくと思います。

アパートの住民が地区のごみ集積場を使用する際のマナーがなっていない。区民から苦情が出ないような集積場管理をお願いいたします。

ゴミ袋の大きさを変更してほしい(ワンサイズ大きい物)

第 2 の環境資源ギャラリーの新設を。旧大東・大須賀に。高齢化が進む中で掛川市にある場所では不便すぎる。30 分～40 分かけて運送するのは高齢者にとっては大変。

燃えるゴミに黒いあみ(落ち葉)がありますが燃やさずに堆肥材料にして自然に帰してほしい。黒いあみはサービス過剰なくらい。

横須賀地区にも 22 世紀の丘公園の様な公園を作って欲しい。掛川市内にしか大きな公園がない。車で 20～30 分かかっていくのは、市内の人たちは近くにあるのに不平等。

大東地区には大きな池が点在しています。こうした池を浄化し、周辺に柳や桜などを植樹したり、花壇などを設置すれば美観が向上するとともにいいの場や快適な散歩コースに変わると思います。

海浜公園の遊歩道の休息場に何年も前からホームレスがテントを張って暮らしている。トイレも使用できず、掛川市または袋井市の恥だ。公園の展望台へ草ぼうぼうで行かれない。

公園緑地の整備は郊外よりも市街地の方を優先した方が良いと思います。

私の住んでいる地区(掛川市北部)には子供が遊べるような公園などがありません。近くに小学校がありますが、幼稚園児にはまだ使えない遊具が多いので遊べません。自転車の練習なども車が通る道です。公園がほしいです。早く第 2 東名の高架下のスペースが使えるようになってうれしいです。子供があそべる場所がほしいです。

公園の枯木が目立つ。植え替えを早急にすべき。

ピアの東側の公園の遊具をもう少し設置してほしい。遊園地が少ない。

外路の植木の件 春～秋にかけて大変しげくなります。(大きな木です。)落ち葉が落ちる頃毎日毎日掃き掃除とても大変です。車道歩道共にものすごく、外灯も見えにくい。地域の人たち大変です。市で管理できなければ植木を減らしてください。

街中にノラ猫が散在しています。何とかして欲しいと思います。動物愛護もよろしいのですが、ペット税を徴収したら(犬猫)働くときはどなたも持参するのでクリーン推進委員に軍手を配る必要はないと思います。無駄を省きましょう。

EMで環境浄化を袋井市のようにEMでプールの清掃をしたり、生ゴミをEMで処理する。きれいで安心なまちづくりを。

河川、用水路にごみが散らばっているのを多く見かけます。それらの掃除と、自然へごみを捨てない意識の向上が必要だと感じます。

飼えなくなった動物の引き取り料が2,000円では安すぎる。どうしても飼えなくなってしまったということなら命を捨てるという意味で高額にするべき。それを見た子どもは命を大切にすることは思えません。

各宅内下水道の完備を徹底的にやって欲しい。やらない家があったのでは工事をしたものは馬鹿みたい。

下水道整備に関しては、市中心部を優先し、周辺地域は見捨てられているように感じています。同じ市民として平等に扱っていただきたいと思います。

公共下水を早く実施(完成)することが最低限掛川に住むための必要条件です。(他市と比べ特に下水整備が遅れている。下水普及が最優先事業です)

農業地域の下水道整備をお願いします。「家庭の排水 農業用水路 田んぼ」という流れになっていることを水田の仕事を手伝って始めて知りました。(田植え等)きれいな水を引き入れて、稲作をしたいと思います。

家代の里団地内の水道水が汚い。(白いタオルを何ヶ月か使っているとグレーになる)。前に住んでいたところはなかったのに、この水を飲んで大丈夫なのか不安になる。

水道料金(下水道使用料金)の値下げ要望。浄化槽使用時と同程度にならないか？
他市に比べて水道料金等も高く生活が苦しくなった感じを持っています。私の家庭のような若い世帯が住みやすい街を作って下さい。

【教育文化分野】

横須賀小学校 2 年生の 1 クラス 38 名で勉強しています。先生も、生徒も大勢すぎて大変だと思います。市で負担してでも先生の数を増やしてもう 1 クラスにして欲しいです。せめて 25 名ぐらいのクラスの数で勉強して欲しいと思います。先生は、とても、親切でいねいに子供を育ててくれるので安心して学校に送り出せます。

サービスの向上よりも市民が町を大切に思うような教育を小さな子どもの時から学校や公共の場で教えて欲しい。

小中学校へのエアコン設置。平成の世になっても冬は 6～8 度、夏は 32～35 度の教室の中で未来の掛川をつくる子供達が学習しているという現状には疑問を感じる。生涯学習宣言都市にしては、小中への予算が少ないのでは…。特に図書費が少ない。

旧掛川市 教室ワックスがけ市費で業者がやっている。旧大東町、旧大須賀町 各校でワックスを教師がかけている。差がある。

子育て支援金？などより、学校を充実させ、先生方の質を高め、安心してまかせられる教育づくり。子供達が喜んで通う学校づくりに力を入れて欲しい。

無理に学校統一しなくても山間部には他にはないあたたかさがあるし、家庭も余分な出費しなくてもすむと思うし、その残った校舎がもったいないし草だらけ見た目悪い！??考えますね…

1 学級の人数は 40 名位が最適。少人数だとそれぞれの立場が決まってしまうと伸びない。教科書は上質のものを作り大切に扱う事を指導する(教科書へ書き込んだり切り取ったりしている現状あり)

幼保一元化に伴い、各園の規模は非常に大きくなり、人数が多い分、保育が手薄になっているように思う。保育園に「病児保育」が欲しい。

幼稚園のあり方をもっと考えて欲しい。たとえば、登園時間、降園時間の拡大、預かり保育など、長時間ではなくとも、働く母親が幼稚園に預けながらでも不自由なく勤務に集中できる環境を作って欲しい。

働きたいのに保育園に入れず、なかなか働けず、ストレスを感じています。もっと充実させてほしい。優先させてほしい。

掛川幼稚園・西保育園跡地の有効活用

幼保一元化が単なる統合になっている。一元化することが目的ではないことをしっかり理解して民間に任せないで行政も対応を望む。

お金を払わなければ子供を預かってくれない。幼稚園、保育園などの延長にまでお金がかかるので引っ越ししてきてビックリしました。仕事のことがなければ子育ての支援のある町に引っ越したいと思ったりしました。

保育園の待機児童の問題を解決してほしい。休日保育を認可保育園にて実施してほしい。ファミリーサポートでは安全面で不安なので、きちんとした施設での実施を希望する。保育園の入園申し込みの窓口の市教育委員会職員の意識の改革を望む。職種や就業形態による対応の差別はよくない。入園できないのは、需給のバランスが悪いためののに、「その程度の仕事なら、自分たちで何とかすればいい」という態度で対応され、大変不快な思いをした。

幼稚園など市中に利用なく放置されている施設が見られる。たとえば、老人向けの勉強にリクリエーションの場として利用が図れないか。

中央図書館は休みが多すぎです(週 1 回、整理日など)。海外の図書館はクリスマスの 1 日だけしか休みがありません。今のままでは限られた人しか図書館には行けないと思います。市民にとってみれば毎日やってほしいです。整理なんて休まなくてもできるのでは?他の国では普通にやれていますよ。

図書館の資料倍増してほしい。

長く生涯学習の町としている様ですが他県からきたものから見ればず～と遅れているように思います。公共施設の利用料も高いし、せっかく学習の場をいただいても夜だけです。なかなか利用できない人が多かったりで残念です。

学習センターを拠点に大正琴を始めて20年になります。(現在会員約100名、70歳以上は約1/4と思われ
ます。)琴は各自持参ですが、練習に伴う機材(ミキサー・アンプ・スピーカー等)の置き場所に、生活文化の部
屋のカウンターの下等を利用していただいております。しかし、ここが使用中だったりした場合、機材の出
し入れで迷惑をかけることになり、これが理由で使用禁止とされてしまいました。学習センターは常に満杯とい
うわけではないと思われず、どこか適当な置場所を検討していただければと思います。

菊川市で開講している様な20代30代も参加できる講座を一年通してなって欲しい。(「生涯学習都市」な
ので)

かけがわ市民マラソンが、今年は、横須賀地区を通らない。とても楽しみにしていたのに、はじめの頃も通ら
ず、やっと、ここ2、3年通っていたが、今年は通らない。来年は横須賀地区をマラソンコースに戻してくださ
い。

フットサルやミニモトができるところをもっと増やして欲しい。

スポーツによるまちおこしをしていきたい。大須賀町駅伝の復活

さんりーなは、以前月額制で大勢の利用があったが、改正により現在は利用者も大幅に減少している。市民
の健康増進に重点を置いた施策により一層の充実を図りたい。

高齢者の健康スポーツに対し、利用しやすい体制づくり、利用上の利便性は図って欲しい(乗り物)

発掘調査がいつどこで行われているかが不明なことが多いので広報に明記して欲しい。できればその成果の
速報も広報に掲示すべきだと思う。毎年図書館で開かれている発掘展ももう少し充実して欲しい。文化財セン
ターの展示物も年一度くらいのサイクルで全てリニューアルすべきと思う。文化財の開示も市民サービスだと
考えられる。

【産業経済分野】

この地域の中小企業はまだ国内の平均的な企業並みの福利厚生や従業員待遇がされていない。行政による介入はできないのか？

60代～65代の人たちの仕事を増やしてください。地元の人を使う会社、工場を作ってください。

大型商業施設の建設。

どこへ行くにも車が必要。自転車移動の可能な範囲に生活に必要な店舗があるよう整備必要。

東部地区にも住宅地や商業施設が欲しい。

介護に関する用品を製造する企業を誘致してください。

大変な時代になったとは思いますが、今一步企業誘致等に頑張ってください。そうすれば必然的に市民全体が若返り、中心市街地はもとより、周辺地域への活性化が広がり、子どもさんが増え、魅力のある掛川市へと変貌してゆくのではと思いますが、皆さんで知恵を出し合って頑張りましょう。

子どもたちが夢を持てるようなまちにしてください。高校生たちは就職率(雇用率)の低さからやる気を失っています。若い世代の不安をできるだけとりのぞいてあげてください。

静岡県は大学が少ないためどうしても他県で受験しそのまま就職をする人が多いと思います。掛川市もそうです。若い人が働きたいと思えるような環境や職場をつくってほしいです。

定年後も多くの人が働ける場がほしい。雇用対策の充実。

街中のイベントはよく行きます(とても楽しいイベントが多いので)。その時、車で出かけるしか方法がないので車でいきますが、駐車場代がかかる。駐車場代でもう1つ何か買えると思ってしまう。

観光地としての掛川を見れば、商店街の完全見直し、土産物のお店は集中して配置するなどの工夫が必要。三の丸広場を駐車場やイベント会場として活用すべき。

掛川市として掛川茶のCMなど作成し、流せないのか？125cc以下バイクのナンバープレートデザインを、お茶をテーマとしたものに変えてみては。

龍尾神社の「しだれ梅」と掛川城周辺の観光地を組み合わせたバスツアーのモデルケースを作成して、近隣の観光業者等に提案する等、積極的な観光誘致を進めたらどうか。

富士山静岡空港の利用促進は、単なる補助事業でなく、将来や他産業への広がりを期待できる活用方法を模索。

観光・まちづくりの促進(掛川の特徴を活かした文化財・祭り・生涯学習・「木」をテーマにしたものなどを個別にではなく一体化して) 駅前一帯が最近のイベントはよい試みだが、まだまだ店舗の疲弊感が明らかで、掛川城などの観光資源が十分に活かされていない。滋賀の長浜などの街づくりなど成功例があるので、行政主導だけでなく、市民が入って、もっと積極的に議論すべきであると思う。長浜などより文化財・交通の便共に観光にはもってこいの立地なのにもったいなさ過ぎる。

掛川市のゆるキャラ(マスコット)を使ってほしい。

もっと観光客(特に外国人)を増やし、税収に繋げて欲しい。温泉の回数券を安く販売して、市民が利用しやすいようにして欲しい。

粟ヶ岳の山道の整備をしてほしい。お花見の季節に大渋滞が起こり、道幅が狭く、側溝に蓋がない。掛川茶の利用促進のために購入補助費を導入して欲しい。健康にとってもよいそうだけど高くてなかなか買えないので。

駅前活性化に税金をつぎこむのに反対です。各店主の自覚がカギです。おもてなしの心が全く欠けていると思います。

無料駐車場が無いことや家賃が高いことなどで商売をたたむ経営者も多いのではないのでしょうか？個人経営の方たちに何か援助できるシステム(100円パスの券を利用したり)を作れないのでしょうか？

「まちづくり」に頭がかたい行政が入らず 100%民間に委託した方がいいと思う。民間は決定が早いしグローバルな発想と利益を考えての「まちづくり」をする。全国へ駅前活性化のアイデア募集して委託したらどうか！

東海道線掛川駅舎はお金を使ってまでもする必要ないと思います。

他の土地(愛知県)から移ってきましたが、自然豊かでとても住みやすい街だと思います。駅前の商店街が静岡市のようにもっと活気があればと思います。その点では、歩行者天国にして青空市が開かれるようになった事はよい事だと思います。

新幹線の停車駅なのに駅周辺が開散としすぎている。

掛川市も合併して大きくなりました。なんといっても駅中心の商店街が元気を出して量販店に負けない工夫をして盛り返してほしい。まず、商店街の大きな駐車場(無料)を設置する。郊外の人を中心に集める様に努力してほしい。

掛川市も郊外はどんどんよくなるけど、駅前通りは昔のまま。大きなデパートでも出来れば町中もにぎやかになると思う。

掛川駅及び市中心部の開発も大切だと思うが、東西南北すみずみまで考えた改革を望みます。

今更言っても詮無きことですが、市役所移転が間違いだったと思います。城下町は駅から城の間に官公庁を残すべきです。観光や休日のイベント等で駅周辺市街地を活性化しようというのは不可能だと思われます。

掛川駅前の再開発について。この近くに映画館がないので、映画館ができれば良いなと思ってます。

市内ばかりでなく南部も活性化してください。

市街地活性化項目で感じること。掛川駅前の再開発の考えは良く分かるが、中心市街地という考え、中心市街地は常に動いている。今までの所が中心だと思っているのは一部の人の考えであると思う。今までと同じようにそこに税金を投入するのは絶対に市民は納得しないと思う。

テレビで掛川茶の話題で、掛川は大注目され観光客も大勢訪れるようになりましたが、土日など観光客が歩いている商店街には、みなシャッターが降りている状態。これでは、けっくら市や朝市などは盛んでも、何の活性化にもならない。商店は定休日などを変更してみてもいいかがでしょうか。みんなで意識を変えていかなければいけないと思います。

環境的にはすばらしい所だと思いますが、駅まわりの見直しが必要だと思います。また使用していない市の施設がそのままだったり、空き地が草まみれだったり、予算の関係とは思いますが…使用していない建物や空き地は地域の方の手や知恵をかりて、利用できる方々にお願いするべきではと思います。

都市整備計画の見直し。大型商業施設が分散しているため買い物に不便。駅前商店街の再開発も含めてすすめて欲しい。将来年をとった時に車を使わずに生活できる街が理想。

掛川駅前の商店街をもっと発展した方がよいと思う。人でにぎわうような商店街にして欲しい。掛川ならではの店「掛川限定の飲食店」など。

夢咲牛、いちご、米、茶、野菜等もっともって掛川産を外へ発信してください。

茶の販路拡大 ためしてガッテンの効果が大きく、緑茶の売れ行きが多くてうれしく思います。お茶の利用については、生葉のふりかけ、佃煮とか、スイーツなどへの宣伝もしてはいかがでしょうか。

農業振興に係る助成措置の拡大を期待します。

農地の活用について。自給率が低いので、高くする必要がある。米だけでなく小麦を作る。または、米を米粉にし、小麦の代わりに普及させる。(パン、麺類など)これにもっと力を入れるべき(輸入に頼っていると困る時が来る)

農業地域の過疎化について、行政が取り組み不十分

【都市基盤分野】

インフラの整備(主要幹線道路の拡幅、道路渋滞の緩和)。現実的では無いが私の願いです。

幹線道路(森 掛川線バイパス)年毎に多い車に困っています。休日等バイクの音に迷惑しています。1日も早く道路整備を考えて下さい。出勤時間帯に市でも一度調査をお願い致します。県道の整備も御一考をお願い致します。

小学校の通学路が狭い。車がぎりぎりのところを通り危険。

歩道をしっかり造ってほしいです。歩道のないところを子供が歩いているのを見るととてもこわいです。(スピードを落とさないドライバーがまだまだ沢山いるので)子供の安全を第一に考えて欲しいです。

農道等道路が悪く思われます。宮脇ですが公民館の近くの川等ガードレールもなく何十年とそのままです。

数年前に作った道路を”農業用水”の整備とかで何回も掘り直している。なぜ最初に工事しなかったのか?計画のズサン、税金のムダ。

和田岡から細谷に向かっての道路で中断していますが、かれこれ20年位たとうとしています。

市街地から少しでも離れると道が暗いです。住宅地等、交通量の少ない所でももう少し道を明るく安心できる街にして下さい。

年度末になるとあちこちで道路工事があるが、もっと年間を通して計画的に予算を使うようにしてほしい。

1市2町の合併後、道路の補修が少なくなったと思った。白線が、横断歩道が消えかかっている所が多い。

岩滑で今年初め頃行われた道路拡張工事は必要がなく、税金の無駄使いも甚だしいと思う。

河川対策。アシがどの川もひどく、美景をさまたげているのでは。ごみの溜まり場にもなる。

大東の東大坂に住んでおりますが、新川橋の川流れてないので草が生えています。どのような計画なのか早く整理していただきたい。お願いします。

ちょっと違う意見ですが、国一(掛西高の交差点)の北側にある、東名高速(掛川インター)への標識が間違っていると思います。

掛川市上西郷小市区に住んでいます。しずてつストア東側のドブがようやくきれいになりました。定期的に掃除をしてほしいです。あとしずてつとカインズの間の道、危険です。一旦停止をつけた方がいいです。

仁藤 葛川の道路、二瀬川・旧神方水の交差点の工事、中町区疋田病院(クリニック)前の道路拡幅、完成が遅かったり未着工である。県道でも市道でも計画が決定したら、予算を早くつけて速やかに完成すべき。

掛川市の中心地に行くまでもっと便利な明るい表示のある道を作って欲しいです。この町に住んでみて新幹線に乗るまでに遠く、袋井の方面のように安くて置ける駐車場を駅近くで欲しいです。

公共交通の充実してない掛川市においては、幹線道路と生活道路を整備し、マイカーの移動がスムーズになるよう願う。市内どこへ回っても行き止まり状態の幹線道路、磐掛線しかり掛川高瀬線、西郷県道しかり。

街灯が良く切れています。大須賀のメルベークというアパートの前の通りです。

老若男女を問わず安心して歩ける広さの歩道の整備など、居住地域の充実をお願いします。大須賀地区西大谷川と東大谷川は川といえるでしょうか。せっかく重機が入って一部きれいになっても3ヶ月もすれば元のもくあみです。もっと根本的にきれいにする方法を考えてください。

第2東名森・掛川インターから国道1号線へのアクセス道路と、細谷吉岡へのインター設置。掛川市西北地域の開発の促進。住宅地は、緑ときれいな空気と太陽の一杯の安心できる環境の良さをキャッチフレーズに。

新病院への交通アクセス、特に運行バス現状赤字運営と思いますがどのような対策をするのか?

運転免許返納による高齢運転者事故減を推進するとともにバス利用促進のため路線、本数の見直しを希望します。

災害があったときの南北道路の確保。

車主体ではなく、公共交通機関を利用するまちにしてください。

掛川中心地だけでなく、南部に住んでいる学生やお年寄りための交通の便、または、手段の手助けをして欲しい。

病院完成後は東地区より通う人達のことを考えていただき、バスの本数は現状の本数だとしても、病院まで乗り換えなしにいける便を作ってください、さらに病院まで行くお客さんの料金については途中で降りる人達の料金とは違った特別料金(特別券)で安く設定して下さる様、検討して欲しいものです。

大須賀から掛川病院までのバス路線の充実。小型マイクロでもいい。

市内循環バスを東山口、日坂方面にも通るようにしてほしい。国道以外の道路を通ってほしい。足が悪い人も乗れるように。運転できる人がいない家の人はどこにも行けません。

循環バスの種類を一定にして欲しい(南回り)。

循環バスについて。前々市長が始めた循環バスを市長変わり路線を増やしてきましたが、これは全くの税金の無駄使い。バス会社、沿線の人たちは良いが、路線にあたっていない人たちも同じ税金を支払っているよ。こんな不公平はない。

和岡線バス利用について 利用者層を見る中で高齢者について中村整形外科、坂本整形、富部の学野外科内科、平成接骨に通院されている方が多くいます。今後について、中村整形廻りと富部各和線の運行を1日1往復でも良いのでお願いします。

通勤、通学に駅(電車)を利用したくても、現状ではバスの本数が少なく利用しづらいです。

ドーナツ型でなく中心街を活性化するようにしてほしい。バスも遠くをまわらなくても目的地へ着けるようなシステムにほしい。

時折、市内循環バス(北回り)を利用して駅まで行く事がありますが、出掛ける時は良いのですが、帰りにバスを利用すると30分以上かかり、結局タクシーを利用しています。便利のようで、あまり使えないのが現状です。バスのない地域もあるので、不平は言えませんが、中途半端なサービスはかえって税金の無駄遣いのような気がします。また、一部地域の人だけが恩恵を受けるのも、どうかと思います。

車を持たないお年寄りの方々も安心して病院や買い物に行けるよう、バス路線以外に住むお年寄りだけの世帯にも配慮して欲しい。

掛川市は自然が豊かでとても住みやすい街だけど、自動車がないとどこにも出掛けられない。公共交通の充実、財源・時間・労力などの点で難しく必要最小限のサービス提供にとどまってしまうと思う。そのため、市民に対していかに自動車を使用する頻度を減らさせるかが重要になってくると思う。商店や企業に対して助成金を出してそのお金をマイカー使用減少のための取組に使ってもらうなど。

市内循環バスが便利。

市の西側にいろいろな建物がありますが、東部の方が置き忘れられているような気がします。そう思われたいようにしていただけるとありがたいです。わからないことが多いので偏ったアンケートになってしまいました。すみません。

子どもが安心して生活できるまちを作っていけたらな~と思います。市営住宅の情報をもっと提供してほしいです。

【防災危機管理分野】

今回の東日本大震災に際して思うこと。原子力は(浜岡原発)現代の要請で必要なものだと思います。災害に対する対策は、人間の英知を絞り、三重、四重の防御を計り、地震、津波に対する対策をとってください。想定外という言葉は聞きたくありません。原子力は恐ろしいものです。だが、人間はそれを使いこなせる能力を持っています。

浜岡原発から 20 キロ前後に位置する掛川市としては東海・東南海・南海の3連動巨大地震に備え、避難所、避難方法、簡易トイレ、飲料水、食料等の計画、見直しを行ってほしい。

9月、12月の防災訓練において、昨年までの地区公民館等へ集合と、その後の訓練のほかに、今後、地区ごとに定めた津波のための高台への避難訓練を実施すべきと考えます。指導願います。

東海地震・津波に対する浜岡原発の安全設備や対策が完全か確認調査して、その結果状況を正直に公表していただきたい。被害が発生してから想定外でしたでは許されないだろう。掛川市の最優先課題として取り組んでいただきたく思う。

今後のエネルギー政策としては、原発は必要とは考える。しかし浜岡御前崎に中部電力一企業が自治会などに金をばらまいている現状を見るにつけ、何かあると考えざるを得ない。掛川市は第三者的立場から徹底的に追求するべきである。掛川市を廃墟の町にするな！

津波の避難訓練も海に近いところではやっていますが、旧掛川市から学校行事等で子供らが海沿いのほうに行くこともあります。引率する教員等にも津波避難の指導を徹底してほしいです。

東日本大震災報道により、原発事故の不安は募るばかりです。安全・安心への対応を希望します。

中電管内すべてで節電の社会実験を行い、最低原発何基稼働せねばならないのかの確認を行うべき。

市民の安全・安心というなら掛川市の放射能・水の汚染の有無などを広報などで告知すべき。東日本大震災について、「がんばれ」というメッセージよりも、「無理するな」「無理の方は日本中・世界中が助けよう」といったメッセージを送った方がよい。

防災体制の強化が叫ばれているのに、同報無線の声が全ての家に行き届かないのは問題です。避難情報が出た時は困る人がいるでしょうね。

市民意識調査を記入するにあたり、私自身、掛川に30年以上住んでいるのに地元に関する意識の低さを感じます。(知らない事が多すぎると思いました)地域(地形)をみると、津波に関しては危険な所と多分大丈夫だろうと思う地域がありますが、原発に関してはどこも同じだと思います。

津波、地震、原発に対する情報公開を積極的に / 実践的なしくみ作り(今までの災害のシナリオの見直しを含む)。
防災対策の充実(避難所となる小中学校の校舎、体育館は大丈夫か? 各小中学校が築何年とか広報に載せてほしい。)

避難所の整備、周知を進めてほしい。県外から引っ越してきた人にはわからない。広報等の放送が聞こえにくい。内容が全くわからない。

東日本大震災及び東京電力福島第一原発での事故に付き、県内各自治体の防災対策の見直しを迫られている現状で、浜岡原発の事を思えば対策が遅すぎると思います。安全だとされていたことが大変な事になっており、これが浜岡だったら今頃では本当に掛川市住民及び静岡県民本当に困っている現状です。消防庁舎も古い事であり、菊川市で防災施設計画が発表されておりますが、掛川市も今一度検討事項と思います。

掛川市横須賀の一市民です。津波や原発の事ですが、横須賀には高いところもないし、ビルもありません。津波が来た時は逃げるところがありません。第一に老人や子供が逃げられる場所を確保して下さい。お願い致します。

防災訓練マンネリ化している。

災害時に快適に過ごせる避難所を作ってください。床暖房がありヘリポートがあり発電機設置があり、ベッドありであること。橋が崩れると孤立化してしまうため、川と川の間でひとつの避難所(上記設備あり)で作ってください。浜岡原発が被災した場合、掛川市民がどこの市町村に移動するのか、区の単位であらかじめ割り振りしておいてください。避難がしやすいと思います。

3月11日の地震で、掛川のライフラインについて考えさせられる。原発の避難区域に入るはず。入ったとき市としてはどうするのか。(生活・保障・備えなど)明確にしてほしい。なってからでは遅い。水も大井川から買っているため、島田市でライフラインがNGとなれば、掛川市は後手に回るはず。対策をとっているのか？

原発を止めてなくすようにしてほしい。ハザードマップを作ってほしい(市の)。放射能から逃げる方角を書いたハザードマップもほしい。

南部の津波に対する対策を過去の調査をしてハザードマップの見直しをする。

中電の地震対策は到底足りないと思う。原発廃止を近隣の市町村長と緊急に真剣に継続的に話し合い、市民とも議論する場を作ってほしい。浜岡原発に何かあったら、風評被害で掛川茶も二度とブランドとして生き返ることができなくなると思う。

浜岡原子力発電所を停止しない限り、掛川に定住する気持ちになりません。

今回起こった東北地震を教訓に、掛川地域の地形をしっかりと調べていただき、地区住民の避難場所(ただ近くの公共施設へということではなく)を明示していただきたい。津波に対応する設備も早急に考えていただきたい。常に市役所の方たちの鋭敏な活動を望んでいます。

東海地震が来るのではないかと不安を抱えていると思うので、すべての市民が風評被害に惑わされないように、具体的に専門家のお話が望まれます。または、印刷物(誰にでも分かりやすい文章で)。

東北の地震で、東海地震に対する不安が大きくなりました。子どもが海の近くの幼稚園に通っていますが、津波のことが非常に心配です。周辺に逃げる場所もないと思います。(高台)どうしたらいいのかわかりません。対策をお願いします！ちなみにわが家ではライフジャケットを家族分常備しています。(役に立つかは別として...)

東日本大震災発生により、浜岡原発が大変心配である。早急に対策をとって欲しい。できれば無くして欲しい。(公共の建物や民家も太陽光発電に)

住宅耐震補強の補助金増額の検討を、東海地震発生時建物倒壊(人命含む)等心配しています。

市で開催する講習会ですが勉強会の様な講習ではなく、他の人に講習出来る人を養成する様な講習会を開いてほしい。例えば、消火器の使い方を聞いた人が自治会の消火訓練の講師をやっていますが、使い方を知っているだけで教え方を教わっていないので、適切な訓練になっていない事が多い。市内で市民講師が育てば、講習コストダウンにもなる。消防団の充実が必要。団員の確保に行政がもっと積極的な施策を。

消防の大会等のイベントは税金のムダ。もっと違う使い方があるでしょ。

119番通報をした時、救急車と消防車が一緒に来る必要があるのか確認したい。(無駄だと思う！)

大須賀地区は横断歩道で歩行者が待っていても車が止まらないことが多いので改善をお願いしたい。

交通マナーがひどい。もっと免許を取る時にきびしくするべき。

スピーカーによる広報ウルサイ！！全く無意味ではないが、市内の徘徊老人の捜索になぜ大須賀方面まで放送するのか？ただ捜してますよ...のパフォーマンスとしか思えない。

犯罪のない明るく安心して暮らせる町づくりをお願い致します。

市役所からの放送が殆ど聞こえず、何を言っているのかわからないのでスピーカーを増やして欲しい。

同報無線は下達だけでなく遠足や廃品回収など市民の一番知りたい事にも使わせて。

【協働・広域・行財政分野】

各地の祭開催の様に行政の関与がなくとも地域のことは自然に恒例的に地域住民が自らの主導権を持っていく姿が望ましい。

退職している中高年の男の人たちがもっと生き生きと社会でボランティア活動などできる環境がないかと思っています。

小中高校と地域が一体となったまちづくり、人づくりが必要だと思う。

週 1 回のいきいき体操、月 2 回の歌を歌う会等地区の有志が公会堂に集まり短時間でとても楽しい時間を過ごさせてもらっています。このような会がどの地区にも広がっていくといいですね。上に立って指導してくれる方に頭が下がります。

自治会運営に県・市 OB の方に全く協調性がない。

祭事等、年配の人達の意見も大事ですが、次世代の人へのバトンタッチも必要です。新時代に向けての若い人達の意見を取り入れていった方が良いとしばしば感じるこのごろです。人材が育っていく為にも。

今は用事がない時はほとんど出かけない。私みたいな人までまちづくりに参加させることは、とても大変だと思います。ただ、何か協力できることがあれば(時間が取れば)したいと思っています。

2～3年の間市民参加型のイベントはやめるべきだと思う。以前に参加した女性学級ほど無駄なものはないと思う。

静岡市からの転入者としては、毎年のように半強制的に割り当てられる地域活動の多さに苦痛を感じています。

英語教育に力を入れて開かれた日本を作るように努力する。その目的の為に市は英語圏との積極的な人事交流を行う。

IT 化で情報をインターネットでと言っていますが、私も 60 才ですがいちいちパソコンを開いてページをめくってというのはなかなか大変です。80 代の 1 人暮らしなどの人の事も考えて、情報の発信の仕方を考えて欲しいです。

光通信の整備を早く進めて頂きたい。

掛川市役所、掛川市民病院の窓口サービスが悪い。市民の意見は行政の末端(窓口)にあり、聞く耳を持ってほしい。
民間企業は企業存続のための努力を常にしています。市役所、受付は 2 人もいらない。休日でも行政(市役所等)利用できるようにしていただきたい。

公務員の人数を減らす。給料を減らすなどスピードある改革をすべきだ(アクションが遅すぎる)。小さな政府、小さな自治体を望みます。行政は必要最小限で良い。

ポルトガル語を話せる職員をもっと増やした方がいいと思います。

日本のどの企業も行っている QC サークル(品質管理を自主的に小グループで行う。)などが全てにおいて行われていないのが大きな問題。

メディアリテラシー教育の促進。

市職員の教育の見直しを。机に人がいるのに待つ時間が長い。行政改革も良いが職員の意識改革が急務。

選挙事務の民間人(市民)の起用、又は経費節減。天下りが目に余る。社協、かけがわ苑、ききょう荘。

掛川市役所の窓口はとても対応が親切で早いのに徳育センターは遅すぎると思う。徳育センターは働いていない職員がいるように見える。

各種手当での減額を希望します(役職、議員を含む)。

固定資産(土地の評価額)が高すぎる。税金が他の市町村に比べて高すぎる。

財政赤字を減らすことを最優先し、減らすべく年間の数値目標を掲げ、必死に取り組むことを切望する。そのためには、市民も行政サービスを要求ばかりしないで、我慢することが大切であり、そのような状況の中でも充実した生活を送れるべく努力が必要ではないでしょうか。

900億とも言われる赤字をどの様に解決するのかビジョンを示して欲しい。広報かけがわに下半期・上半期で使った市民税を事細かく市民に示すべきです。難しい言葉でごまかさず明瞭に。

よく、住民を入れた会議が行政主導のもと設置されるが、効果的に活かされていない。市民がアイデアを出し、愛情を持って取り組んでいく。それに対し行政が後押しをする体制を取ってほしいと思います。

市役所に相談に行くと、区長或いは職員を通じて上げてくれとの事。個人は受け付けないとの事。私共も税金を納めており、差別することはできないはずである。

私の地区では区長のなり手が少なく、選考に困難を極めています。行政に参画しようと思えないからでしょう。

我が家には「広報かけがわ」が届きません。市役所の方々がどんなことに取り組んでいるかを知るには、HP等で情報収集を行うしかありません。もっといろいろなことをアピールしてください。

広報かけがわの件ですが、イベントや教室などが簡単に検索できるようにしてほしい。おくやみの名前を載せて欲しい。(大須賀の時は載せた)市役所ホームページに、市民が気楽にアイデアとか意見を投稿できるコーナーを作ってみたらどうですか？

地域密着発展は結構な事だが、外から来て横のつながりを持たない人間には、市が何をやっているのか分かりづらい。

大須賀地区に住んでいます。会合等で生涯学習センターに出向くには距離もあり時間も掛かります。なるべく地区での開催をお願いしたい。

年齢と共に関心はあっても、社会の制度に又システムに追いついて行けずに淋しい思いを致します。運転が出来ないこと、パソコン等の知識がなく操作が出来ないこと等も大いにあると思います。広報等で一つでも二つでも取り上げて優しく説明して頂くと勉強になると思います。

有識者による会議とかと書かれているメンバーを見ると、大須賀地区に関してはすべての人が教師を退職した方でした。とても安易に選んでいるように見えてなりません。もっと広範囲な人選を望みます。

以前大東は市町村税の特別徴収はOCRでした。今は手書きですよ。そういうところも考えた方が良いでしょう。

電子化もいいけど、ついていけない老人(高齢者)のことも考えてもらいたい。

インターネットと言うが、光通信も掛川中心が主なので、もっと使えるように広めてもらいたい。

広域行政を(中東遠の大合併を)

山間部の家の減少により、自治活動も思うようにできない地区もあります。地域の中での助け合いの和が続けていけます様、山間部地区の現状の見直し調査を行ってほしいと思います。

市議に女性が1人もいない状態で「男女共同参画」とはいかに????

男女共同参画と言いつつ、女性ばかりを優遇するような施策が掛川市にあったとは知りませんでした。男性に十分な仕事が行き渡っているのですでしたら、そもそも女性は働かなくとも、家庭を守っていれば良いのではないのでしょうか。公共事業を増やし、もっと多くの雇用を確保することが最優先であるべき。

男女共同参画について、男女それぞれ生まれながらに持っている本質を忘れてはならない。女校長、女課長等、重みがない、やっぱり上には男の品格が行くべき。女の良さを活かした仕事にした方が良いでしょう。

掛川区域・大東区域・大須賀区域の一体化を図る交流事業の充実

【その他】

抄本の附票をもらいに行くと、記載された住定日がまちがっていたり、その日付を訂正するため、1時間以上またされたりと、問題が多い。重要なものだけにミスはまずいのでは。

旧掛川地区に何事も集中しているように思います。南部にももう少し行政、福祉の目を向けていただきたいと思います。

今までの合併しない前の方がわかりやすく参加しやすかった。

アンケートが長すぎる。もっと明確に単純な聞き方をした方がよい。アンケートが一部の人に限られているような気がします。私はこれで3回目です。

何よりこうした意見を募集(調査)する努力が嬉しく思えます。今後も一市民として応援いたします。

アンケートを書き終えて、「わからない」という項目へチェックを入れた数の多さに自ら驚いています。自己の日常に追われて、自分の行動範囲の外にある環境について、いかに自分が無関心で無知かを知り、また、自分の世界の狭さにも改めて驚いています。

東京都の石原知事のようなリーダーシップを今求めている。掛川市長に大いに期待している。

松井市長に一言。一度もお見かけしたことがありません。もっと市民の中にとけ込んでください。

設問の方法がおかしい。市の方針が正しいという前提になっている？

一部受益者が高額市の補助金を優先し交付されることはかなり大問題だ。必ず問題になるしする。

昔人間といわれるかもしれないがほとんどの人が大学まで行かせてもらいながら名上の人、親にも感謝の気持ちになさすぎる。国の方針かもしれないがあまり甘やかした政策はして欲しくない。

神社の祭りの寄付が他の市町村よりも多いと感じました。よそは2・3千円位がここでは9千円以上です。とても大変です。

浜岡原発問題をアンケート項目に入れるべきだったと思う。目下最大の問題を除いたアンケートは殆ど無意味に思える。

掛川市に住んで6年ほどになりますが、周辺に緑が多くとても暮らしやすいと感じています。これからもより良いまちづくり期待しています。

菊川市から転入してきましたが、やはり掛川市の方が市政に関して進んでいると実感しています。ゴミ問題、住基カードの面においては、すばらしい実績を残していると思います。

松井市長になってから市政がガタガタになり心配です。

郵便物は定型と定型外では料金が大幅違う。アンケート返送などは折ってもらえば良いと思う。もう少し考えてほしい。

毎朝ながす時報の時、お早う御座いますとあいさつできないですか？市が率先して挨拶をするようにお願いします。

日頃より安心した生活を支えてくださりありがとうございます。私自身健康で仕事もあり特にすごく困っていることはありません。掛川で暮していれば、今後も安心だなという思いがあります。ただこの先自分だけでなく家族、友達も困った時、助けが必要となった時に、あたたかい手を差し伸べてくれる市であってほしいです。よろしく願います。

意識調査でこれだけたくさんの分野があるので驚きです。改善すべき所限りないです。頑張ってください。

住民税が他の市(近隣の)に比べて高いと思う。もっと安くしてほしい。

掛川は何だか暗い雰囲気がします。何故でしょうか？人々にも活気があまり無いように思えます。もっと皆が明るく元気が出る行政をして欲しいです。

年代が 80 歳以上になりました。生まれてから 80 年以上掛川に居住しています。掛川ほど良い町はありません。南部地区との合併で行政も大変だと思います。益々お元気で行政にがんばってください。以上

自然環境と利便性のある市街地形成と子供たちが楽しく遊んで学べる整合性のあるまちづくり。

佐東地区住民より。南北道はできず、公共下水はストップなのに！！ 都市計画税だけとるとは何ごとぞ。旧掛川市との合併は完全に失敗であった。

誰もが住みやすいまちづくりは大切なことだと思う。しかし、利害関係ばかり考えてなかなか一步を踏み出せないとよりよい掛川にはならないと思う。まずは、掛川の顔である駅から変わっていくと人々の交流も増え活性化に役立つと思う。

どうせ民意なんて無視して行政やってるのにアンケートが不愉快。

市でしかできない事を、しっかりやってください。まかせられるところはまかせて、賢く民間を使ってください。このアンケートの方法では何も良くならないと思います。

